

2025年度

事業報告書

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

学校法人 新潟総合学院

I 法人の概要

1. 所在地

〒950-0914 新潟県新潟市中央区紫竹山六丁目 3 番 5 号

2. 法人設立日

1995 年(平成 7 年) 4 月 1 日

3. 沿革

1995 年(平成 7 年) 3 月	学校法人新潟総合学院設立認可 下記の学校を宗教法人愛宕神社より学校法人新潟総合学院に設置者を変更 新潟デザイン専門学校、新潟ビジネス専門学校、NSG 高校進学予備校(各種学校)、長岡情報ビジネス専門学校、郡山情報ビジネス専門学校(福島)、新潟コンピュータ専門学校、新潟国際情報学院(高等専修学校)、アップル外語観光カレッジ
1997 年(平成 9 年) 4 月	新潟会計ビジネス専門学校を開校
1999 年(平成 11 年) 4 月	新潟公務員法律専門学校を開校 全日本ウィンタースポーツ専門学校を開校 郡山テクノデザイン専門学校を開校(福島)
2000 年(平成 12 年) 4 月	日本アニメ・マンガ専門学校を開校 国際ビューティモード専門学校を開校 アップル外語観光カレッジの校名を国際エア・リゾート専門学校に変更
2001 年(平成 13 年) 3 月	新潟国際情報学院(高等専修学校)を廃止 NSG 高校進学予備校(各種学校)を廃止
2002 年(平成 14 年) 4 月	国際情報工科専門学校を開校(福島) 国際メディカルテクノロジー専門学校を開校(福島)
2003 年(平成 15 年) 4 月	国際ビューティ・ファッション専門学校を開校(福島)
2004 年(平成 16 年) 4 月	国際アウトドア専門学校を開校 国際エア・リゾート専門学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
2005 年(平成 17 年) 4 月	郡山テクノデザイン専門学校の校名を国際アート&デザイン専門学校に変更
2006 年(平成 18 年) 4 月	全日本ウィンタースポーツ専門学校に高等課程を設置
2008 年(平成 20 年) 4 月	伝統文化と環境福祉の専門学校を開校
2009 年(平成 21 年) 4 月	国際アウトドア専門学校の校名を国際自然環境アウトドア専門学校に変更 国際情報工科専門学校の校名を専門学校国際情報工科大学校に変更
2013 年(平成 25 年) 4 月	国際アート&デザイン専門学校に高等課程を設置 長岡情報ビジネス専門学校の校名を長岡公務員・情報ビジネス専門学校に変更 長岡こども・医療・介護専門学校を開校

2015 年(平成 27 年)1 月	上越情報ビジネス専門学校を設置者変更にて取得 郡山情報ビジネス専門学校の校名を郡山情報ビジネス公務員専門学校に変更 上越情報ビジネス専門学校の校名を上越公務員・情報ビジネス専門学校に変更
2017 年(平成 29 年)4 月	郡山情報ビジネス公務員専門学校の校名を国際ビジネス公務員大学校に変更 国際アート&デザイン専門学校の校名を国際アート&デザイン大学校に変更 国際メディカルテクノロジー専門学校の校名を国際医療看護福祉大学校に変更 専門学校国際情報工科大学校の校名を国際情報工科自動車大学校に変更 国際ビューティ・ファッション専門学校の校名を国際ビューティファッション・製菓大学校に変更
2018 年(平成 30 年)3 月	全日本ウインタースポーツ専門学校の高等課程を廃止
2018 年(平成 30 年)4 月	国際ビジネス公務員大学校、国際アート&デザイン大学校、国際医療看護福祉大学校、国際情報工科自動車大学校、国際ビューティファッション・製菓大学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
2019 年(平成 31 年)4 月	新潟法律大学校 開校 新潟ビジネス専門学校、新潟コンピュータ専門学校、新潟デザイン専門学校、新潟会計ビジネス専門学校、全日本ウインタースポーツ専門学校、新潟公務員法律専門学校、日本アニメ・マンガ専門学校、国際ビューティモード専門学校、国際自然環境アウトドア専門学校、新潟法律大学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
2019 年(令和元年)10 月	伝統文化と環境福祉の専門学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
2020 年(令和 2 年)4 月	開志専門職大学 開学 設置学部 学科:事業創造学部 事業創造学科 情報学部 情報学科
2021 年(令和 3 年)4 月	開志専門職大学アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科を設置
2022 年(令和 4 年)4 月	長岡公務員・情報ビジネス専門学校、長岡こども・医療・介護専門学校、上越公務員・情報ビジネス専門学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
2025 年(令和 7 年)4 月	開志創造高等学校 開学

4. 設置する学校の名称及び所在地 (2025 年 5 月 1 日付)

開志専門職大学

事業創造学部 事業創造学科	2020 年度開設
情報学部 情報学科	2020 年度開設
アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科	2021 年度開設

開志創造高等学校

通信制課程 普通科	2025 年度開設
-----------	-----------

※本部所在地:〒950-0914 新潟県新潟市中央区紫竹山六丁目 3 番 5 号

5. 役員等の概況（2025 年 5 月 1 日付）

理事 7 名(定員 7 名) 監事 2 名(定員 2 名) 評議員 15 名(定員 15 名)

役 職	職 名	氏 名	選任区分
理 事	理事長	池田 祥護	2 号(評議員)
理 事	副理事長	川崎 千春	2 号(評議員)
理 事	開志専門職大学学長	各務 茂夫	1 号(学長)
理 事		村山 雄亮	2 号(評議員)
理 事		星野 善宣	3 号(学識経験者)
理 事		小野 隆樹	3 号(学識経験者)
理 事	常務理事	権瓶 拓也	3 号(学識経験者)
監 事		北爪 文義	理事会選任
監 事		齋藤 貴介	理事会選任

(補足)・理事会の議決によって役員の実任を免除することができる限度額(寄附行為第 59 条)

・非業務執行理事及び監事の責任限定契約(寄附行為第 60 条)

・役員賠償責任保険(東京海上日動火災保険株式会社)に加入

・終期について、令和 7 年度の定時評議員会の終結の時まで伸長(寄附行為附則 55)

参考 役員等の概況（2026 年 5 月 1 日現在）

理事 8 名(定員 8 名) 監事 2 名(定員 2 名) 評議員 9 名(定員 9 名)

役 職	職 名	氏 名	選任条項
理 事	理事長	池田 祥護	8-1-2 15-2
理 事	副理事長	川崎 千春	8-1-2 15-6
理 事	開志専門職大学学長	各務 茂夫	8-1-1
理 事	常務理事	権瓶 拓也	8-1-2
理 事		伊藤 和真	8-1-2
理 事		小野 隆樹	8-1-2
理 事		北畑 隆生	8-1-2
理 事		星野 善宣	8-1-2
監 事		磯部 利行	23-1
監 事		齋藤 貴介	23-1

(補足)・理事会の議決によって役員の実任を免除することができる限度額(寄附行為第 59 条)

・非業務執行理事及び監事の責任限定契約(寄附行為第 60 条)

・役員賠償責任保険(東京海上日動火災保険株式会社)に加入

・終期について、令和 7 年度の定時評議員会の終結の時まで伸長(寄附行為附則 55)

6. 定員に対する学生数の状況（2025 年 5 月 1 日付）

開志専門職大学の定員・学生数の状況

学部学科	入学 定員	収容 定員	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
事業創造学部事業創造学科	80	320	73	50	44	60	227
情報学部情報学科	80	320	63	45	40	72	220
アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	80	320	67	57	57	56	237
合 計	240	960	203	152	141	188	684

＜参考＞開志専門職大学の定員・学生数の状況(2026 年 5 月 1 日現在)

学部学科	入学 定員	収容 定員	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
事業創造学部事業創造学科	80	320	81	71	50	48	250
情報学部情報学科	80	320	76	62	43	49	230
アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	80	320	92	66	57	61	276
合 計	240	960	249	199	150	158	756

開志創造高等学校の定員・学生数の状況

課程学科	入学 定員	収容 定員	1 年	2 年	3 年	合計
通信制課程普通科	200	600	64	11	10	85

＜参考＞開志創造高等学校の定員・学生数の状況(2026 年 5 月 1 日現在)

課程学科	入学 定員	収容 定員	1 年	2 年	3 年	合計
通信制課程普通科	200	600	101	103	29	233

7. 教職員の概要（2025 年 5 月 1 日付）

1) 開志専門職大学教員

学部等	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
事業創造学部	(1)	10	4	4	1	1	20
情報学部		8	3	2	2	0	15
アニメ・マンガ学部		8	4	4	2	6	24
合 計	(1)	26	11	10	5	7	59

※学長を教授数に含むと教授 27 名となり、専任教員合計 は 60 名となる。

＜参考＞開志専門職大学教員(2026 年 5 月 1 日現在)

	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
大学全体(3 学部)	(1)	28	13	7	6	9	63
合 計	(1)	28	13	7	6	9	63

※学長を教授数に含むと教授 29 名となり、専任教員合計 は 64 名となる。

2) 開志専門職大学職員(法人職員を含む)

	専任	常勤嘱託等	合計
職員数	41	5	46

＜参考＞開志専門職大学職員(法人職員を含む)(2026 年 5 月 1 日現在)

	専任	常勤嘱託等	合計
職員数	40	3	43

3) 開志創造高等学校教職員

	教員	職員	合計
教職員数	8	4	12

＜参考＞開志創造高等学校教職員(2026 年 5 月 1 日現在)

	教員	職員	合計
教職員数	11	4	15

II 事業の概要

1. 開志専門職大学

本学は、建学の精神「自学」「挑戦」「創造」「貢献」に基づき、実践的で特色のある教育を推進し、学生の高い志を開花させ、誇り高い専門職を育成することを目的に、2020 年 4 月に事業創造学部事業創造学科、情報学部情報学科の 2 学部 2 学科、2021 年 4 月にアニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科を開設し、全国唯一の 3 学部 3 学科体制を備える総合専門職大学です。

本学の目的: 専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材育成をすることにより、地域、日本、世界の発展に寄与すること。

専門職大学の特徴は、原則 1 クラス 40 人以下の少人数教育や 4 年間で 600 時間を超える臨地実務実習(長期企業内実習)が単位として認められる点であり、既存の大学とは全く違った専門職業人材の育成を

強みとしています。

建学の精神に基づき、実践的で特色ある教育・研究を推進し、学生の高い志を育み、誇りある専門職の育成に努め、就職実績や学生起業の成果を確立するため、教職員が一丸となって取り組みました。

特に、実践的な教育成果を可視化し、あらゆるステークホルダーに発信することで、全国的な認知度や魅力の向上と、世界標準の総合専門職大学(プロフェッショナルユニバーシティ)の実現を目指して活動し、中長期計画「Kaishi Vision 2032」に基づくアクションプランを推進した結果、開学後初となる入学定員充足の達成と共に3年連続で就職率100%を達成しました。

また、2025年度は、アニメ・マンガ学部にて一般社団法人専門職高等教育質保証機構による分野別認証評価を受審し、「適合」としての結果を文部科学省に報告し、社会にも公表しました。これにより、教育の質保証と社会的信頼性のさらなる向上を図っています。

1) 組織体制

産業界等と緊密に連携した実践的な教育により高度な人材を育成するため、各分野における教育実績や研究実績を有する研究者教員と、高度な実務の経験を有する実務家教員をバランスよく構成しています。教育・研究・実務経験豊富な専任教員のもと、実践力を高める取り組みを行ってきました。

■各学部の実務家教員割合

	事業創造学部	情報学部	アニメ・マンガ学部
実務家教員数/専任教員数 (実務家教員の割合)	12/19 (63.2%)	9/15 (60.0%)	14/18 (77.8%)

2) 教育・研究活動

(1) 学部・学科構成

- ・事業創造学部事業創造学科:入学定員80名、収容定員320名 紫竹山キャンパス
2023年度入学以前:アントレプレナー、ビジネスクリエーター、次世代経営プロフェッショナルの3つの修得モデルコース
2024年度入学以降:起業家、経営デザインの2つの修得モデルコース
- ・情報学部情報学科:入学定員80名、収容定員320名 米山キャンパス
2023年度入学以前:データサイエンティスト、ロボティクスエンジニア、クラウドエンジニア、セキュリティエンジニアの4つの修得モデルコース
2024年度入学以降:AI・データサイエンティスト、IoT・ロボティクスエンジニア、クラウドエンジニア、サイバーセキュリティの4つの修得モデルコース
- ・アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科:入学定員80名、収容定員320名 古町ルフルキャンパス
アニメーション分野、マンガ分野、キャラクターデザイン分野の3つの修得モデルコース

(2) 臨地実務実習(長期インターンシップ)

「ビジネスの現場で実践力を高める」～講義で得た学びを、目指す業界の現場で実践し、将来のキャリアに役立つ力を身につける～ために、在学中 600 時間以上の企業内実習を展開しています。

① 事業創造学部

事業創造学部では、1 年次に「企業内実習Ⅰ」、2 年次に「企業内実習Ⅱ」、3 年次に「企業内実習Ⅲ」の 3 科目の臨地実務実習を実施しました。

■事業創造学部 3 年次企業内実習Ⅲ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
株式会社アイ・ステーション	IT ソリューション	3
オイシックス・ラ・大地株式会社	食品販売	3
株式会社 Yeny	電子決済システム	2
加茂市観光協会	観光	4
きら星株式会社	移住誘致	2
サンフロンティア佐渡株式会社	宿泊・観光	4
スタートライン株式会社	障害者雇用支援	4
津南町観光協会	観光	2
株式会社 TBM	環境配慮素材の開発製造	2
第一工業製薬株式会社	化学メーカー	3
新潟関屋自動車学校	自動車学校の運営	4
株式会社フォーワテック・ジャパン	シール印刷	2
株式会社堀内組	総合建設	3
株式会社メビウス	情報処理サービス業	1
吉乃川株式会社	酒造販売	4

■事業創造学部 2 年次企業内実習Ⅱ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
愛宕商事株式会社	総合商社	6
株式会社イタリア軒	宿泊	4
エスイノベーション株式会社	イノベーション推進事業	3
有限会社恵比須屋	アパレル	3
株式会社 Creative.LAB	映像・Web メディア	3
有限会社ナマラエンターテイメント	エンターテイメント	3
一般社団法人新潟県起業支援センター	起業支援	2
株式会社新潟レディースフットボールクラブ	サッカークラブ運営	4
株式会社バウハウス	地域振興	2
株式会社博進堂	印刷・出版	4

株式会社 MiKUMARi	総合コンサルタント	6
株式会社 Riparia	アプリ・Web サービスの開発/ 企業向けプロモーション支援	3
特定非営利活動法人 Lily&Marry 'S	こども食堂運営	3
株式会社 LOSSTIME	アパレル	2

■事業創造学部 1 年次企業内実習 I 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
アオイ化学工業株式会社	建築資材製造・販売	3
株式会社ウィザップ	印刷	4
株式会社 NSG アカデミー	教育・学習塾	4
株式会社 NSG ホールディングス	経営管理	4
株式会社キザシオ	OA 機器販売・メンテナンス	4
株式会社サカイ引越センター	運送業	4
三条市 市民部地域経営課	地方自治体	4
一般社団法人新潟県中小企業家同友会	団体	8
にいがた鮭プロジェクト	産学連携活動	4
新潟市都市政策部	地方自治体	4
新潟総合警備保障株式会社	警備	4
株式会社ハーモニック	カタログギフト	4
パール金属株式会社	日用品メーカー	7
株式会社ヘルスケア・エージェンシー・ジャパン	福祉施設運営	4
北陸ガス株式会社	ガス業	4
株式会社マルト長谷川工作所	金物製造卸	3
有希化学株式会社	化学メーカー	3



株式会社ウィザップ 実習の様子 株式会社 LOSSTIME 実習の様子 吉乃川株式会社の実習の様子

■事業創造学部 2025 年度臨地実務実習成果報告会

臨地実務実習終了後、以下のとおり成果報告会を開催しました。

(会場は全て紫竹山キャンパス S406 教室)

●企業内実習Ⅰ成果報告会・・・参加企業 17 社

日時:2025 年 12 月 3 日(水) 13:00～17:45

内容:実習先での学んだ内容・体験に基づき

- ・実習先の紹介
 - ・取り組んだ課題
 - ・実習を通して考えたこと(提案)
 - ・そこから得られた学び(身に付いたこと)
- の 4 要素を含めたプレゼンテーション

●企業内実習Ⅱ成果報告会・・・参加企業 14 社

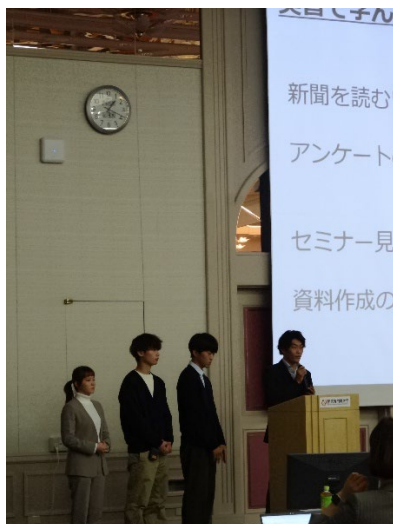
日時:2025 年 12 月 17 日(水) 10:30～15:45

内容:実習期間中に検討した企業の課題に対する新企画・取り組み案および、その過程・結果のプレゼンテーション

●企業内実習Ⅲ成果報告会・・・参加企業 15 社

日時:2025 年 12 月 10 日(水)10:30～15:40

内容:実習期間中に検討した企業の経営課題についてのプレゼンテーション



成果報告会の様子Ⅰ



成果報告会の様子Ⅱ

■事業創造学部 2025 年度臨地実務実習シンポジウム

事業創造学部で初の試みとなる臨地実務実習シンポジウムを開催しました。

日時:2026 年 1 月 14 日(水)15:00～17:00(14:00 開場、懇親会 17:00～)

会場:開志専門職大学 紫竹山キャンパス S406 教室

<目的>

- 実習の育成成果の向上のため、各社が持つ方法論や課題を共有
- 企業の皆様の交流を深める(+次年度臨地先開拓)

<参加者>

- 企業数:30 社/ 7 社(オンライン) 合計 36 社(会場、オンラインの重複あり)

➤ 参加者:43名/7名(オンライン) 合計50名(教職員除く)

＜プログラム＞

- 2025年度実施報告(石川教授)
- 代表チームによるプレゼンテーション(鮭プロ、愛宕商事、TBM)
- 代表チーム担当企業によるトークセッション(各社+岡田助手)
- 総括(向学部長)
- ポスターセッション(参加企業の学生も参加)



臨地実務実習シンポジウムの様子Ⅰ



臨地実務実習シンポジウムの様子Ⅱ

② 情報学部

情報学部では、2年次第3期に臨地実務実習Ⅰ(210時間)、3年次第3・4期に臨地実務実習Ⅱ(450時間)を展開しました。

■情報学部 3年次臨地実務実習Ⅱ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
株式会社デジプル	情報処理サービス業	2
株式会社新潟人工知能研究所	専門サービス業	4
モリパワー株式会社	教育・学習支援業	4
株式会社ジェイ・エス・エス	情報処理サービス業	2
Adam Innovations 株式会社	ITコンサルティング業	3
株式会社ギルド	情報処理サービス業	2
株式会社大和コンピューター	情報処理サービス業	2
トーテックアメニティ株式会社	情報処理サービス業	2
フラー株式会社	情報処理サービス業	1
株式会社ソーシャルサポート	社会福祉センター	1
中部テレコミュニケーション株式会社	電気通信業	1
株式会社ドッツ	情報処理サービス業	2
株式会社情報技術センター	情報処理サービス業	2

シスココンサルティング株式会社	IT コンサルティング業	2
Socialups 株式会社	IT コンサルティング業	2
株式会社ティ・アイ・シー	テストエンジニアリング事業	2
株式会社ナカノアイシステム	測量・地図作成業	2
Zeit 株式会社	情報処理サービス業	4
株式会社システムコンシェルジュ	情報処理サービス業	1
株式会社トラステック	ソフトウェア業	2
レイシスソフトウェアサービス株式会社	ソフトウェア業	2
株式会社メビウス	情報処理サービス業	1

■情報学部 2 年次臨地実務実習 I 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
株式会社アルトナー	情報サービス業	2
株式会社エスペシャリイ	情報サービス業	2
株式会社ラネクシー	ソフトウェア業	1
株式会社新潟人工知能研究所	専門サービス業	4
株式会社 Dream Advance	教育・学習支援業	2
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社新潟支社	OA 機器関連商社	2
モリパワー株式会社	教育・学習支援業	2
株式会社ジェイ・エス・エス	情報処理サービス業	2
リコージャパン株式会社(新潟支社)	情報サービス業	1
株式会社ギルド	情報処理サービス業	2
株式会社システムコンシェルジュ	情報処理サービス業	2
株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟	一般土木建設業	1
株式会社新潟トランスポートシステムズ	運送業	2
佐渡市	自治体	1
株式会社ザイマックスデジタル	情報サービス業	2
株式会社ミロク情報サービス	アプリケーションソフトウェアの開発・販売業	1
ソリマチ株式会社	アプリケーションソフトウェアの開発・販売業	1
五泉市	自治体	1
株式会社インテック	情報・通信業	2
レイシスソフトウェアサービス株式会社	ソフトウェア業	2
Adam Innovations 株式会社	IT コンサルティング業	2
株式会社トップライズ	建設コンサルタント業	2
インド工科大学マドラス校	教育(大学)	2

株式会社ヒューマンリソース	教育・学習支援業	1
株式会社メビウス	情報処理サービス業	1
株式会社ブレインジェネシス	ソフトウェア業	2

■情報学部 2025 年度臨地実務実習シンポジウム

臨地実務実習後、以下のようにシンポジウムを開催しました。

◇開催日時・会場

2026 年 2 月 17 日 (火) 13:00～16:30 朱鷺メッセ 2F メインホール

◇参加者

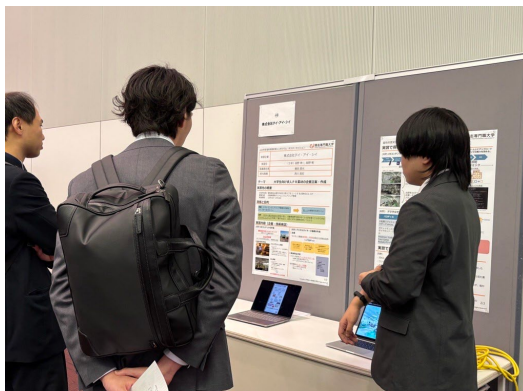
情報学部 1・2・3 年生、教職員、実習受け入れ企業の代表者・実習担当者、次年度以降の実習受け入れ予定企業

◇目的

- ・1 年生に対しては、「臨地実務実習Ⅰ」の目的・概要及び2年生の実習成果等を理解することで次年度履修する「臨地実務実習Ⅰ」に対する心構えや目標をもたせる動機づけ。
- ・2・3 年生に対しては、「臨地実務実習Ⅰ」「臨地実務実習Ⅱ」での成果を整理するとともに他社の実習の体験を共有することで次年度履修する「臨地実務実習Ⅱ」に対する動機づけ。
- ・実習受け入れ企業に対しては、実習に協力いただいた感謝の意を示すとともに、他社での実習の取組や成果の情報共有。

◇プログラム

- ・基調報告『実習現場のグローバル展開、生成 AI 時代の学生成果の生産性』
- ・パネルセッション『グローバル・キャリアを育てる臨地実務実習』
- ・実習Ⅱ成果報告
- ・ポスターセッション
 - ・実習受け入れ企業からの講評



ポスターセッションの様子



情報学部 臨地実務実習シンポジウムの様子

③ アニメ・マンガ学部

アニメ・マンガ学部では、「文化啓発施設運営実務Ⅰ」、「文化啓発施設運営実務Ⅱ」、「デジタルペイント実務Ⅰ」、「デジタルペイント実務Ⅱ」、「印刷・広告実習Ⅰ」、「印刷・広告実習Ⅱ」、「イラスト実務実習(連携実務実習)」、「アニメ制作実務Ⅰ」、「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ」、「アニメ制作実務Ⅱ」、「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ」の臨地実務実習を実施しました。

■アニメ・マンガ学部 2年次文化啓発施設運営実務Ⅰ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
新潟市マンガ・アニメ情報館	生活関連サービス業、娯楽業	3
新潟市マンガの家	生活関連サービス業、娯楽業	2
りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館	その他の教育、学習支援業	8
新潟市中央公民館	その他の教育、学習支援業	6
新潟市東地区公民館	その他の教育、学習支援業	6
新潟市立中央図書館	その他の教育、学習支援業	6
新潟市食育・花育センター	その他の教育、学習支援業	4
新潟市こども創造センター	その他の教育、学習支援業	3
新潟市動物ふれあいセンター	その他の教育、学習支援業	4
新潟市アグリパーク	その他の教育、学習支援業	2
新潟市立黒崎図書館	その他の教育、学習支援業	3
まんがイラストクラブ	その他の教育、学習支援業	12

■アニメ・マンガ学部 2年次文化啓発施設運営実務Ⅱ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
新潟市マンガ・アニメ情報館	生活関連サービス業、娯楽業	3
新潟市マンガの家	生活関連サービス業、娯楽業	2
ゆいぽーと 新潟市芸術創造村・国際青少年センター	その他の教育、学習支援業	10
砂丘館(旧日本銀行新潟支店長役宅)	その他の教育、学習支援業	2
新潟市中央公民館	その他の教育、学習支援業	8

新潟市鳥屋野地区公民館	その他の教育、学習支援業	5
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館	その他の教育、学習支援業	4
新潟市食育・花育センター	その他の教育、学習支援業	4
新潟市環境政策課	公務・行政サービス	4
古町夜市実行委員会(㈱モアソビ)	広告業	5

■アニメ・マンガ学部 2 年次デジタルペイント実務 I 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
株式会社世阿弥 Entertainment	印刷・同関連業、映像・音声・文字情報制作業、他	20
株式会社ファンタジスタ	映像・音声・文字情報制作業	14
株式会社新潟アニメーション	映像・音声・文字情報制作業	9
株式会社エムツージーピー	映像・音声・文字情報制作業	17

■アニメ・マンガ学部 3 年次デジタルペイント実務 I 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
株式会社世阿弥 Entertainment	印刷・同関連業、映像・音声・文字情報制作業、他	5
株式会社ファンタジスタ	映像・音声・文字情報制作業	14
株式会社新潟アニメーション	映像・音声・文字情報制作業	13
株式会社エムツージーピー	映像・音声・文字情報制作業	11

■アニメ・マンガ学部 3 年次印刷・広告実習 I 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
株式会社博進堂	印刷・同関連業、出版業	20
株式会社緑陽社	印刷・同関連業	3
株式会社ジョーメイ	印刷・同関連業	4
株式会社アイ・シー・オー	広告業	4
株式会社ウイネット	出版業	8
株式会社 DI Palette	印刷・同関連業、映像・音声・文字情報制作業	5
株式会社ユニークワン	印刷・同関連業	2
株式会社広報しえん	広告・人材業	5
株式会社新潟日報メディアネット	広告業	2
株式会社リプロネクスト	IT・広告業	6
阿部印刷株式会社	印刷・同関連業	4

■アニメ・マンガ学部 3 年次印刷・広告実習Ⅱ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
株式会社博進堂	印刷・同関連業、出版業	20
株式会社緑陽社	印刷・同関連業	3
株式会社アイ・シー・オー	広告業	4
株式会社ウイネット	出版業	5
株式会社ユニークワン	印刷・同関連業	2
株式会社新潟日報メディアネット	広告業	2

■アニメ・マンガ学部 3 年次イラスト実務実習（連携実務実習）実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
新潟まんが事業協同組合	映像・音声・文字情報制作業	57

■アニメ・マンガ学部 3 年次アニメ制作実務Ⅰ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
株式会社朱夏	映像・音声・文字情報制作業	1
株式会社手塚プロダクション	映像・音声・文字情報制作業	6
株式会社アンサー・スタジオ	映像・音声・文字情報制作業	1
紺吉有限会社	映像・音声・文字情報制作業	1
株式会社 studio A-CAT	映像・音声・文字情報制作業	3
株式会社オー・エル・エム	映像・音声・文字情報制作業	3
ユーフォーテーブル有限会社	映像・音声・文字情報制作業	2

■アニメ・マンガ学部 3 年次キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
ヤルキマントッキーズ株式会社	映像・音声・文字情報制作業	4
株式会社アクアスター	映像・音声・文字情報制作業	3
一般社団法人 純真	その他の教育、学習支援業、映像・音声・文字情報制作業	5
株式会社デジブル	広告業	12
株式会社まんがたり	映像・音声・文字情報制作業	4
株式会社ガタケット	映像・音声・文字情報制作業	5
株式会社 DNP 出版プロダクツ	広告業、映像・音声・文字情報制作業	6

■アニメ・マンガ学部 4 年次アニメ制作実務Ⅱ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
一般社団法人 純真	その他の教育、学習支援業、映像・音声・文字情報制作業	1

■アニメ・マンガ学部 4 年次キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 実習先企業

企業名	業種	派遣学生数
一般社団法人 純真	その他の教育、学習支援業、映像・音声・文字情報制作業	1

■アニメ・マンガ学部 2025 年度臨地実務実習報告展示会

2025 年度に実施されたアニメ・マンガ学部臨地実務実習の成果報告として、以下の通り展示会を実施しました。

◇展示期間・会場

2026 年 2 月 11 日(水)～15 日(日) 新潟市マンガ・アニメ情報館

※開志専門職大学アニメ・マンガ学部 卒業展覧会 2026 との併催

◇参加者

アニメ・マンガ学部生、教職員、実習受け入れ企業の代表者・実習担当者、アニメ・マンガ学部生保護者、その他卒業展覧会来場者

◇目的

- ・ 下の学年の学生に対しては、臨地実務実習各科目の実習成果に触れることで、次年度以降履修する臨地実務実習に対する心構えや目標をもたせる動機づけ。
- ・ 実習受け入れ企業に対しては、実習に協力いただいた感謝の意を示すとともに、他社での実習の取組や成果の情報共有。

■開志専門職大学 アニメ・マンガ学部 卒業制作展 2026

2025 年度に実施された臨地実務実習報告展示会と併設する形で、アニメ・マンガ学部 4 年次総合科目「総合制作研究実習Ⅰ・Ⅱ」において制作された卒業制作の成果発表として、下記の通り卒業制作展を開催した。

◇展示期間・会場

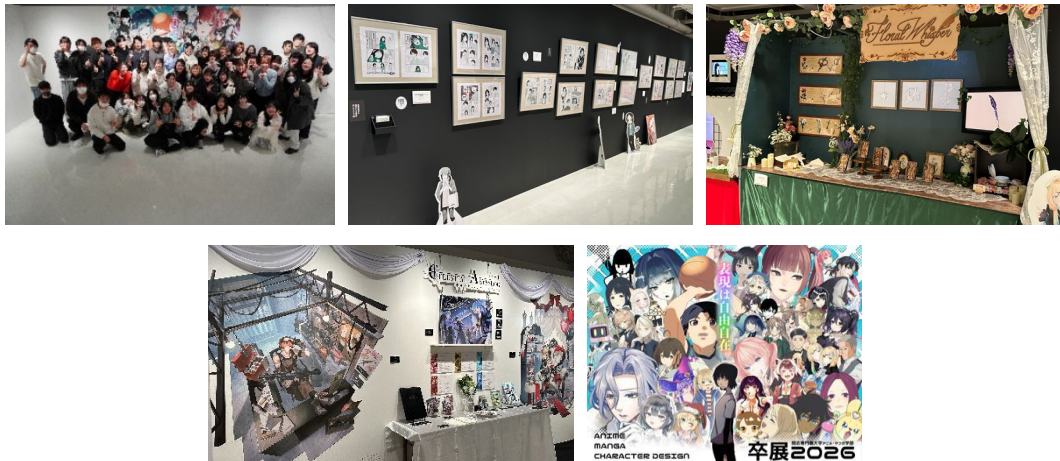
2026 年 2 月 11 日(水)～15 日(日) 新潟市マンガ・アニメ情報館

※開志専門職大学アニメ・マンガ学部 卒業制作展 2026 との併催

◇出展者数 46 名

(本卒業制作展カタログへの掲載は47名。カタログには 2025 年度「総合制作研究実習Ⅰ・Ⅱ」で制作された学生作品を掲載。)

◇来場者数 463 名



卒業制作展の様子・ポスター

(3) 産学連携教育の充実

産業界とつながるため、また産学連携の取り組みを強化すべく、様々な業界のプロに学べる環境の提供として、以下のとおり実施しました。

① トップランナー研究

企業の創業者、経営者がゲスト講師として登壇し、先進事例や自身の経験談、リーダーとしての人生観等について講演。専門職業人としての心構えを理解するとともに、学生同士のグループディスカッションを通じて創造力を育成することを目的としています。

■情報学部 開催実績

日付	企業名	講師 ※役職(講演当時)
12月4日(木)	株式会社日本経済新聞社	日経イノベーション・ラボ 山田健太 氏
12月5日(金)	株式会社ディー・エヌ・エー	代表取締役社長兼 CEO 岡村信悟 氏
12月11日(木)	株式会社 Fennel	代表取締役社長 高島稜 氏
12月18日(木)	株式会社 Clear	SAKETIMES 編集長 小池潤 氏
1月15日(木)	株式会社日立ソリューションズ	青山桃子 氏
1月16日(金)	楽天銀行株式会社	副社長執行役員 野原彰人 氏
1月23日(金)	日本ビジネスシステムズ株式会社 代表	取締役社長 牧田幸弘 氏
1月30日(金)	公益社団法人企業情報化協会	顧問 矢部剛 氏

②来学頂いたゲスト講師

本学では、トップランナー研究以外でも一流に触れて一流から学ぶために、各専門分野の方々を招聘し、講演や学生の指導等を展開しています。

■事業創造学部 ゲスト講師

実施日	講義名	講師※役職(講演当時)
6月26日(木)	マネジメントアカウンティング ／会計学概論	公認会計士 富田大資 氏
7月10日(木)		TIS 株式会社 経営管理部マネージャー 井ノ口孝史 氏
6月5日(木)	環境と企業経営	未来創造実践工房 主宰 山本直弘 氏 株式会社新潟博報堂 佐藤玲奈 氏 第四北越銀行 佐藤慧介 氏
6月12日(木)		未来創造実践工房 主宰 山本直弘 氏 株式会社新潟博報堂 佐藤玲奈 氏 第四北越銀行 佐藤慧介 氏
6月26日(木)		妙高はねうま複業協同組合 事務局長 東 智隆 氏
7月31日(木)		株式会社皆川製作所 代表取締役 曾根亮子 氏
5月7日(水)		にいがた経済新聞社 梅川康輝 氏
6月12日(木)	ファイナンス概論	みずほ証券株式会社 金融経済教育推進室上級研究員 浜崎 氏 新潟支店法人部長 中島 氏
5月12日(月)	財務諸表分析	Indeed Japan 株式会社 阿部 麻子 氏
5月19日(月)		
6月17日(月)		株式会社岩の原葡萄園 取締役業務部長兼企画部長 桑原芳弘 氏
6月24日(月)		みらい COACHING 株式会社 代表取締役 須貝裕保 氏
5月29日(木)	産業研究Ⅲ(環境)	一般社団法人日本原子力産業協会 人材育成部 主任 藤原尊徳 氏
6月5日(木)		
6月26日(木)		電源開発株式会社(J-POWER) 執行役員 中山 寿美枝 氏
7月3日(木)		JFE スチール株式会社 専門主監(フェロー)／理事 手塚宏之 氏

6 月 16 日 (月)	商品開発実習	有限会社パーフェクトウィン山形 インフルエンサー 勝手にオネーサン 氏
6 月 2 (月)	情報リテラシー	ヤンセンファーマ(株) インフォメーション・テクノロジー 部 部長間昌子 氏
10 月 3 日 (金)	ビジネスプランの基礎	デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社 狩谷真治 氏
11 月 14 日 (金)	ビジネスプランの基礎	Citadel AI 株式会社 代表取締役 小林裕宜 氏
1 月 23 日 (金)	ビジネスプランの応用	LAETOLI 株式会社 代表取締役 CEO 武藤 弥 氏
4 月 18 日 (金)	ビジネスプランの応用 会社設立実習Ⅱ	オイシックス・ラ・大地株式会社 経営企画本部 深澤 友貴氏 村田 靖雄 氏
6 月 6 日 (金)		株式会社日本経営企画センター 代表取締役 岡田 祐希 氏
7 月 25 日 (金)		SN@P 新潟 事務局長 荒川由晃 氏
4 月 15 日 (火)		株式会社 NSG ホールディングス 人事本部 細金崇英 氏
4 月 15 日 (火)		八海醸造株式会社 専務取締役 海津 博之 氏
4 月 22 日 (火)		中小企業庁 よろず支援拠点 コーディネーター 中俣 順弥 氏
5 月 13 日 (火)		にいがた司法書士法人/行政書士法人 代表 徳本好 彦 氏
5 月 20 日 (火)		新潟信用金庫本店営業統括部コンサルティング推進課 長山之内洋介 氏
5 月 20 日 (火)		オタフクホールディングス株式会社 広報部部長 児玉 崇 氏
5 月 27 日 (火)		弁護士法人中村・大城国際法律事務所 弁護士 中村崇氏 大出竜也 氏
6 月 3 日 (火)		一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 上信越支部 新潟事務所 新潟相談室長 安藤ますみ 氏
6 月 17 日 (火)		新潟県事業承継・引継ぎ支援センター 山本剛氏 齋藤昭憲 氏
7 月 8 日 (火)		新潟雇用労働相談センター 特定社会保険労務士(相 談員) 酒井 氏 廣井 氏

7月15日(火)		SN@P 新潟 事務局長 荒川由晃 氏
7月29日(火)		株式会社イードア 地域戦略化事業部事業部長
		新潟支社長 石川翔太 氏
5月29日(木)	実践ベンチャービジネス	楽天投信投資顧問株式会社 代表取締役社長 東 眞之 氏
6月12日(木)	実践ベンチャービジネス 新潟と地域資源	株式会社 AKaFUJI 代表取締役 マネージングパートナ ー 服部 将大 氏
7月8日(火)		新潟庭園街道ネットワーク 事務局長 平原悟 氏
6月13日(金)	地域資源活用実習	新潟市役所まちづくり推進課 加藤健二 氏
7月25日(金)	地域資源活用実習	新潟市役所まちづくり推進課 加藤健二 氏
6月16日(月)	地域資源活用の理論と方法	新潟県農林水産部 地域農政推進課 主任 岩間晴香 氏
6月16日(月)	地域資源活用の理論と方法 産業研究Ⅶ(まちづくり)	新潟県農林水産部 初期品・流通課 主事 今井望喜 氏
6月5日(木)		新潟大学工学研究科 准教授 捧田恵 氏
5月30日(金)	産業研究Ⅷ (カルチャー・エンターテイン メント)	株式会社 TBS テレビ プラットフォームビジネス局 DX 営業部 宇野顕則 氏
6月13日(金)	産業研究Ⅷ (カルチャー・エンターテイン メント)	(株)バンダイナムコ エンターテインメント AE 事業部 ゼネラルマネージャー 木村 慎 氏
9月30日(火)	簿記概論	みらい COACHING 株式会社 代表取締役 須貝裕保 氏
11月25日(火)	簿記概論	株式会社アヴィ 代表取締役 兼平朋美 氏

■情報学部 ゲスト講師

実施日	講義名	ゲスト講師詳細
4月14日(月)	クラウドベーシック&マーケティング	NCRI 株式会社 代表取締役社長 津田 邦和 氏
4月21日(月)		
5月23日(金)	国際文化と伝統	株式会社モリサワ デザイン部門バイスエグゼクティブ マネージャー 岡 繁樹 氏
6月20日(金)		開志専門職大学 客員教授 松長昭 氏

6月27日(金)		ExpertConnect Asia Founder/ Managing Director 中村有希 氏
7月4日(金)		
7月11日(金)		Adam-i Ventures 株式会社 代表取締役社長 カウシャル・ワウワガラ 氏
7月18日(金)		
7月14日(月)		カリフォルニア大学 バークレー校教授 野村 泰紀 氏
7月24日(木)	基礎ゼミⅡ	実践女子大学 生活環境学科 教授 安齋 利典 氏
10月23日(木)		デザインスタジオまつだ 代表 松田 崇 氏
4月28日(月)	マーケティング実践	株式会社プロッセル 代表取締役社長 横山 和輝 氏
5月20日(火)	キャリアデザインⅠ	株式会社カヤバ 社長 萱場 和彰 氏
5月12日(月)	マーケティング実践	株式会社 Riparia 代表取締役 CEO 室田 雅貴 氏
5月29日(木)		デザインスタジオまつだ 代表 松田 崇 氏
7月24日(木)	ICT 活用総合実習	実践女子大学 生活環境学科 教授 安齋 利典 氏
6月23日(月)	キャリアデザインⅡ	日本アイ・ビー・エム株式会社 テクノロジー事業本部 テクニカルリーダーシップ 執行役員 大久保そのみ 氏
7月21日(月)	クラウドプラットフォーム実習	
8月4日(月)	I	株式会社ゲットワークス 境川 章一郎 氏
10月23日(木)		
11月27日(木)	情報デザイン	デザインスタジオまつだ 代表 松田 崇 氏
12月18日(木)		
7月14日(月)	ソーシャルデザイン実習	佐渡市地域振興部 移住交流推進課 西牧 孝行 氏
7月14日(月)	キャリアデザインⅢ	株式会社 BSN アイネット 中村 高明 氏
7月11日(金)	IoT 演習	株式会社マーケティングサイエンスラボ 所長(ファウンダー) 本間 充 氏
8月19日(火)		Socialups 株式会社 チーフマネージャー 常間地 悟 氏
8月19日(火)		株式会社ニミインターナショナル 創業者／商品開発責任者 石原 由佳 氏
8月19日(火)	アントレプレナーシップ入門	株式会社 Zoo 代表取締役社長 吉野 裕斗 氏
8月20日(水)		株式会社 Rasen Global Ventures 代表取締役 榊原 清隆 氏
11月21日(木)	情報デザイン	実践女子大学 生活環境学科 教授 安齋 利典 氏

12月18日(木)	空間コンピューティング実習	ワンフットシーバス 代表 田中 正吾 氏
12月19日(金)	空間コンピューティング	
12月4日(木)	空間コンピューティング実習	株式会社日立製作所 研究開発グループ 先端 AI イノベーションセンター 知能ビジョン研究部 藤原貴之 氏
12月5日(金)	空間コンピューティング	
1月29日(木)	空間コンピューティング実習	坂元旭 氏
1月30日(金)	空間コンピューティング	
12月9日(火)	データベースの基礎	NTT 株式会社 コンピュータ&データサイエンス研究所 特別研究員 斎藤忍 氏

■情報学部 STREAM FEST. 2025 in 新潟 共催

実施日	内 容
-----	-----

STREAM FEST.2025 は、子どもたちが科学・技術・ロボット・工学・芸術・数学といった STREAM 分野に触れ、楽しみながら学ぶことで、未来の可能性を広げていくための体験型イベントです。今回、情報学部の米山キャンパスを会場として開催するとともに技術職員・学生サポートスタッフなどの支援を行いました、また情報学部より2つのブースを出展しました。

11月15日(土)



■情報学部 新潟市教員／新潟高校教員・物理部向け 3D プリンタ講習

実施日	内 容
7 月 1 日(火) 8 月 19 日(火) 11 月 28 日(金)	3D プリンタの基本的な使い方から、講習使用する 3D CAD データの説明、データの加工、造形までの一連の流れを講義。3D CAD ソフトで自ら設計を行う方法はもちろん、3D スキャナによる立体物のスキャンによる 3D データの生成、その他にも有志によって投稿されているデータをダウンロードするなど、あらゆる角度から 3D プリンタの活用を拡大する。



■情報学部 関西経済同友会教育問題委員会による視察・意見交換

実施日	内 容
1 月 30 日(金)	実務教育を重視した開志専門職大学を訪問し、現地・現物に触れ、有識者・学生との意見交換などを通じ、委員会の知見を深めるとともに、関西・日本における産学協働での人材育成の実例づくり・実現に向けた手掛かりを掴むことを目的とし、関西経済同友会より 18 名の委員および事務局が来校し、主に情報学部の教員・学生との意見交換を行った。 ・キャンパスツアー・臨地ポスター紹介 ・臨地実務実習説明、学生との意見交換:臨地や就職先の話、質疑応答 ・教員との意見交換

■情報学部 退官教員最終講義

実施日	内 容
3 月 12 日(木)	今年度をもって情報学部をご退職される磯西徹明教授、西川昌宏教授、平川秀樹教授、三上喜貴教授(順不同)は、情報学部の立ち上げと発展に多大なるご尽力をいただきました。 これまでのご功績に深く感謝申し上げ、最終講義を開催いたしました。



■アニメ・マンガ学部 ゲスト講師

実施日	科目名	講師 ※役職(講演当時)
4月9日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 斎藤友子 氏 山賀博之 氏
4月14日(月)	表象芸術論	新潟大学 教授 石田美紀 氏
4月16日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 斎藤友子 氏
4月21日(月)	表象芸術論	平野勇氣建築設計事務所 平野勇氣 氏
4月23日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 山賀博之 氏
4月28日(月)	表象芸術論	平野勇氣建築設計事務所 平野勇氣 氏
5月7日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 山賀博之 氏
5月12日(月)	表象芸術論	平野勇氣建築設計事務所 平野勇氣 氏
5月13日(火)	キャリアデザインⅡ	株式会社 Creative.LAB 代表取締役社長 中村氏、制作プロデューサー 村山氏
5月14日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 斎藤友子 氏
5月19日(月)	表象芸術論	平野勇氣建築設計事務所 平野勇氣 氏
5月21日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 山賀博之 氏
5月26日(月)	表彰芸術論	Éclat Hair make up 主宰 糸由香里 氏
5月28日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 斎藤友子 氏
6月2日(月)	表彰芸術論	Éclat Hair make up 主宰 糸由香里 氏
6月2日(月)	キャリアデザインⅢ	株式会社ポリゴン・ピクチュアズ 勅使河原一馬氏、長谷川隆道 氏
6月4日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 山賀博之 氏
6月11日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 斎藤友子 氏
6月13日(金)	マンガ脚本演習	小林理枝 氏
6月16日(月)	表象芸術論	新潟大学 教授 石田美紀 氏
6月18日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 山賀博之 氏
6月23日(月)	表象芸術論	株式会社ビーアイス 代表取締役/ポージングディレクター 中井信之 氏
6月25日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 斎藤友子 氏

7月2日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 山賀博之 氏
7月9日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 斎藤友子 氏
7月16日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 山賀博之 氏
7月21日(月)	表象芸術論	京都服飾文化研究財団 石関 亮 氏
7月23日(水)	企画プロデュースゼミ	株式会社ガイナ 斎藤友子 氏 山賀博之 氏
7月24日(木)	ライフドローイング理論および演習	ARM TOKYO 認定ヘッドコーチ 方波見吉男 氏
8月4日(月)	表象芸術論	学校法人文化学園 文化服装学院 西洋服装史 専任教授 朝日 真 氏
12月4日(木)	キャラクターデザイン実習	株式会社アクアスター 取締役 佐藤秀政 氏

■アニメ・マンガ学部「ルノワール」特別試写会

発売日	内 容
6月11日(水)	アニメ・マンガ学部の早川千絵教授が監督を務めた映画「RENOIR」が、第78回カンヌ国際映画祭のコンペティション部門の正式出品作品に選出されたことを記念して、開志専門職大学の在学生・教職員・関係者および入学希望の高校生・保護者に限定したユナイテッド・シネマ新潟にて公開前試写会を行いました。

6月11日(水)



特別試写会の様子

■アニメ・マンガ学部 文化庁アニメーション研究事業「アニメーションキャンプ in school テストケース」実施

発売日	内 容
11月9日(日)	アニメ・マンガ学部 古町ルフルキャンパスにて、「アニメーションキャンプ in school テストケース」が実施されました。 「アニメーションブートキャンプ in school テストケース」は、アニメーション業界志願者を対象とした基礎教育プログラムとして、文化庁の「アニメーション等人材育成調査研究事業」の一環として実施されているワークショップです。今回の「アニメーションキャンプ in school テストケース」は、これまでのブートキャンプをベースに、カリキュラムや実施規模を最小限に抑えることで、全国各地の教育機関との連携を促進することを目的とした実験プログラムです。 今回、アニメ・マンガ学部のアニメ分野の2年生12名を対象に、1日形式で身体感覚の共有とアニメーションの演技に関するワークショップが行われました。



アニメーションブートキャンプの様子

■アニメ・マンガ学部 一般社団法人新潟県中小企業家同友会 チラシ制作感謝状贈呈式

実施日	内 容
12月18日(木)	一般社団法人新潟県中小企業家同友会が主催する「ミライを創るシゴト展 ―地域には、まだ知らない未来がある―」が、11月29日(土)に朱鷺メッセにて開催されました。 本イベントのチラシデザインは、本学アニメ・マンガ学部の学生2年(ガチサークル所属)2年生:田中 彩葉さん(新潟県 帝京長岡高校 出身)、1年生:大井 菜友紀さん(和歌山県 日本航空高等学校 出身)が担当しました。



感謝状贈呈式の様子

■アニメ・マンガ学部 新潟県警「インターネットバンキング不正送金被害防止ポスター制作 生活安全部長感謝状贈呈式」

実施日	内 容
	・新潟県警察本部にて「SNS 型投資詐欺被害防止ポスター制作 生活安全部長感謝状贈呈式」が開催され、開志専門職大学 アニメ・マンガ学部から belne 教授と学生 4 名が参加しました。 ・本学の学生は、令和 5 年度より新潟県警察サイバーボランティアとして委託され、サイバー犯罪被害の防止を目的とした広報啓発動画制作などに協力してきました。近年インターネットバンキングを使用した不正送金被害が急速に増加していることを受け、県民の防犯意識向上を目指して、アニメ・マンガ学部の学生が被害防止ポスターを制作しました。 ・贈呈式では、belne 教授と最優秀賞、優秀賞を受賞した 2 名の学生が出席し、清水生活安全部長より感謝状を受け取りました。
	【最優秀賞】 【優秀賞】 3 年 島 向日葵 2 年 南場くるみ 1 年 大井菜友紀

3 月 3 日(火)



SNS 投資詐欺被害防止ポスター制作 生活安全部長感謝状贈呈式の様子

■アニメ・マンガ学部 板野一郎氏アニメ演出ワークショップ

実施日	内 容
1 月 16 日(金)	・アニメ界のレジェンドによる、アニメーション演出・作画のワークショップを開催。 ・講師:板野一郎 氏(紺吉有限会社 CGI 演出顧問) 1959 年生まれ。「機動戦士ガンダム」「伝説巨神イデオン」では原画として参加、その後「超時空要塞 マクロス」ではメカ作画監督を担当し、常識を越えたそのアクションはファンの間で“板野サーカス”と呼ばれるようになった。CG への造詣も深く、CGI 監修・CG モーション監修で関わった作品も多数。 『ULTRAMAN』(2004 年劇場版ウルトラマン、フライングシーケンスディレクター) 『楽園追放 -Expelled from Paradise-』(モーションアドバイザー) 『エヴァンゲリオン新劇場版 Q』(CGI 監修) 『GANTZ』(監督) 『ウルトラマンメビウス&ウルトラ兄弟』(CGI 監修) その他、監督・特技監督・CGI 監督等で関わった作品多数 ・会場:開志専門職大学古町ルフルキャンパス F204 プレゼンテーションルーム



ワークショップの様子

■第 4 回新潟国際アニメーション映画祭

実施日	内 容
2 月 20 日(金) ～25 日(水)	・本映画祭は、長編商業アニメーションに特化し、長編アニメ映画のコンペティション部門を持つアジア最大の祭典として、新潟から世界に向けてアニメーション文化の発信を目的に開催。 ・同映画祭では、長編アニメーションを対象としたコンペティションの他、特集・企画上映やセミナー、ワークショップを実施。 ・古町ルフルキャンパスにおいて、アニメーション研究に関するフォーラムと、新潟日報 メディアシップ日報ホールでは、アニメーションの未来像と題し、国際フォーラムを実施しました。 ・会場: NEXT21 新潟市民プラザ、シネ・ウインド、T・ジョイ新潟万代、本学、古町ルフル広場、新潟日報メディアシップ日報ホール、ゆいぽーと ・主催: 新潟国際アニメーション映画祭実行委員会(一般社団法人新潟国際アニメーション映画祭) ・共催: 新潟市 ・企画運営: 新潟国際アニメーション映画祭 + ユーロスペース ・特別協力: 新潟県 株式会社新潟日報社 本学部 新潟大学 JAM 日本アニメ・マンガ専門学校

新潟県商工会議所連合会 燕商工会議所

AFAN (Asian Film Alliance Network)

- ・協力:公益財団法人新潟観光コンベンション協会 新潟中心商店街協同組合 ホテルイタリア軒 株式会社ジェイアール東日本企画新潟支社 株式会社和田助製作所 株式会社三雄工芸 一般社団法人新潟県通訳翻訳協会(NAT) 株式会社アイ・シー・オー にいがたアニメ・マンガフェスティバル実行委員会 エンタリングル-Enterlingual- (株式会社ポリゴン・ピクチュアズ) 東京国際映画祭 有限会社ネオンテトラ インスティテュート・セルバンテス東京 株式会社だいいち工芸 ホテルディアモント新潟 新潟・万代シルバーホテル 株式会社晴光デジタルクリエイト 株式会社ウィザップ 株式会社サウンドエイト にいがたマンガ大賞実行委員会 ANIAFF 新千歳空港国際アニメーション映画祭
- ・特別協賛: NSG グループ、新潟日報社 ナミックス株式会社 新潟総合警備保障株式会社
- ・後援: 内閣府知的財産戦略推進事務局 経済産業省 新潟県教育委員会 公益財団法人新潟県観光協会 新発田市 新潟経済同友会 新潟ニュービジネス協議会 NHK 新潟放送局 BSN 新潟放送 NST 新潟総合テレビ TeNY テレビ新潟 UX 新潟テレビ 21 FM 新潟775
- ・審査委員長: アヴィッド・リオンゴレン氏 映画監督
- ・審査委員: ホセ・ハビエル・フェルナンデス 欧州文化機関ネットワーク会長・ディアス氏、早川千絵氏 映画監督
- ・フェスティバル・チェアマン: 小田 敏三 氏 株式会社新潟日報社相談役
- ・新潟国際アニメーション映画祭実行委員会委員長
: 成田 兵衛 開志専門職大学アニメ・マンガ学部学部長
- ・実行副委員長／プログラム・ディレクター: 北條 誠人 氏 有限会社ユーロスペース代表
- ・実行副委員長／プログラム・ディレクター: 梨本 諦鳴 氏 映画監督、株式会社サニーレイン 代表取締役
- ・映画祭新潟事務局長／プログラム・ディレクター: 内田 昌幸 氏
株式会社新潟アニメーション代表取締役
- ・映画祭新潟事務局次長: 新田 悠弥 氏 NSG マンガ・アニメ・映像推進室

■GenreCon2026.INKING 2026

実施日	内 容
2月20日(金) ～22日(日)	アニメ・マンガ学部の belne 教授が、オーストラリアクイーンズランド州で作家の執筆を支援する芸術団体「クイーンズランドライターズセンター」が主催する文学系作家大会(コンベンション)「GenreCon2026」にキーノートスピーカーとして招聘されました。「GenreCon2026」は、オーストラリア国内の作家・編集者・クリエイターが集う、最大級の文学総合フェスティバルで2026年2月19日～22日にオーストラリア・ブリスベンにて開催されました。 また、「GenreCon2026」のテーマ「INKLING」の一環として、ショートストーリーコンテストの優秀作品をマンガ化する企画に本学学生が参加、「GenreCon2026・INKLING 墨思」に最優秀

作品・茂木 美祐さんの作品が全ページ翻訳掲載されたほか、表紙を榎本愛子さん・清野冴さんが飾り、参加学生全員のマンガの工程も紹介され、一冊の冊子としてコンベンションにおいて刊行されました。

belne 教授はキーノートスピーカーとして「漫画家としての人生 50 年とマンガ教育」をテーマに基調講演を行った他、マンガアーティストとしてキャラクター制作やビジュアルストーリーを題材としたワークショップを実施しました。さらに、現地クリエイターや研究者とのパネルディスカッション 2 つにも参加し、国際的な視点においての、日本のマンガ表現・ストーリーテリングについて発信しました。

本学アニメ・マンガ学部で日頃から学生の育成に尽力する belne 教授が、海外の芸術団体から招聘され、国際的な舞台で創作の知見を発信することは、学部としても大変意義深いもので、今後学生にとっても、世界の創作コミュニティとつながる学びの機会がさらに広がることが期待されます。



GenreCon2026.INKING 2026 での様子

(4) 学習支援センター

授業での理解度を高めるための個別補習や、多くの学生が課題を抱える分野の集団補習、各種資格取得を目的とした対策講座など、各キャンパスで学習支援センターを設けて学習をサポートしています。

■ 紫竹山キャンパス

① TOEIC 対策講座

実用的な英語のスキルを磨き、高得点を目指す講座: 受講者 9 名

② 簿記講座

日商簿記検定 2 級取得を目指す講座: 受講者 1 名

日商簿記検定 3 級取得を目指す講座: 受講者 1 名

■米山キャンパス

①個別支援件数:22 件

②講座

1)ビジネスマナー講座(情報学部2年生対象)

2 学期(10 コマ)

2)夏期講座:8/18(月)～9/19(金)

基本情報 科目 B 対策(アルゴリズム、セキュリティ)、ラズパイ、Python、はじめてのクルマ選び

3)春期講座:3/3(火)～3/19(木)

基本情報科目A対策、科目 B 対策(アルゴリズム、セキュリティ)、ラズパイ(入門編、プログラミング編)、Office、Canva(デザイン制作、動画制作)、謎解き:合計 26 名受講

③もくもく会(自由参加)

1・2 期(毎週月・水曜 4・5 限)、3・4 期(毎週火曜 5 限、金曜 3・4 限)。延べ 92 名利用

■古町ルフルキャンパス

①「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」

協力:(株)グローバルステーション 9/24(水)から毎週水曜日 5 限

アニメ・マンガ学部／事業創造学部 留学生1年 27 名対象

②「日本語能力試験対策講座」

協力:(株)明光キャリアパートナーズ 7/1(火)～11/18(火)全 15 回

アニメ・マンガ学部 留学生 3、4 年生 7 名対象

③「Blender 研究会」

講師:渡部 英雄教授 5/25(水)～1/27(水) 参加学生約 10 名

(5)学生フォロー体制

各学部において全ての学生に対し、教員を割り当て 1 年次での定期的な面談や臨地実務実習やコース間でのフォローを通じて、授業内外に関わらず総合的に相談できる体制を整えています。

悩みを抱える学生に対しては教員・職員による相談対応に加えて、准看護師1名、公認心理師(スクールカウンセラー)1名を配置して 3 キャンパスを巡回することで、悩みのある学生の早期発見と対応に努めました。医療機関への連携については校医による診断を踏まえ誘導するなど、対象者に寄り添った的確な対応を心掛けています。

2024 年 4 月から義務化された障害のある学生に対する合理的配慮の提供に対しては、前年度に支援方針、規程、業務細則等を設け、年度当初から適用しています。

また、学内用 SNS として Microsoft Teams が学生に活用されているため、学務課職員を中心とした学生情報の共有を漏れなく行うように対応しています。

■学費支弁に関するフォロー

学生の学費支弁については、経済的に課題を抱える学生も多いことから、日本学生支援機構をはじめとする各種奨学金制度を SNS や掲示板などで案内しました。

また、国が行っている「修学支援の新制度」についても、漏れのないよう案内を行い、随時個別相談も行っています。

これらの取り組みの結果、各種奨学金の利用状況は以下の通りとなりました。

- ① 日本学生支援機構 給付奨学金 143 名
- ② 日本学生支援機構 第一種貸与奨学金 77 名
- ③ 日本学生支援機構 第二種貸与奨学金 154 名
- ④ 新潟市奨学金(貸与) 1 名
- ⑤ 古泉育英財団 給付奨学金 2 名
- ⑥ 公益財団法人 日本国際教育支援協会 JEES 留学生奨学金(修学)1 名
- ⑦ 開志専門職大学 給付奨学金 2 名
- ⑧ 開志専門職大学 資格奨学生制度 23 名
- ⑨ 開志専門職大学 進級時奨学金 A 奨学生:18 名、B 奨学生:28 名
- ⑩ あしなが育英会 1 名

(6)研究に対する取り組み

各種研究センターを設置し、企業との共同研究・開発が継続的に行える仕組みを構築するとともに、大学・研究機関等とのシナジー効果を目的とした戦略連携の検討を進めていきます。

◇イノベーション力研究所

本研究所は、「事業の創造」及びその元となる「イノベーション力の醸成」に関する研究の推進を行うことを目的としています。研究推進の一環として、本学教員・学生らが執筆したイノベーションの創出・実現に関する調査・研究・事例等や、アントレプレナーに関する調査・研究・事例等の投稿を綴った「イノベーション力研究」という所報を発行しています。

◇起業家教育研究センター

学内外の専門家と連携しながら起業を支援するための組織です。ビジネスアイデアコンテストの優勝や入賞に向けたブラッシュアップ支援、起業志望の学生に対する各種支援を行っております。起業家教育研究センターイベント【起業家道場】を毎週 1 回開講し、師範によるビジネスアイデアのブラッシュアップ支援、勉強会、各専門家・支援機関の方による講演など幅広いプログラムを展開し、起業に向けたノウハウを学べる機会を提供しています。

◇開志未来創造研究センター

専門職大学の「研究」は、産業界での活用を出口とする実践的な開発研究、コンサル、産学共同教育による人材育成など多様な活動が考えられ、センターでは共創の場の提供、ワークショップ運営などを通じて活動を支援しています。また、その取り組みや成果を視覚化することで、「見せる」センターとして科学技術の啓発や情報発信を行っています。



センターの様子

2025 年度は以下の活動を行いました。

① VR による障害体験イベント（西川昌宏ゼミ活動）

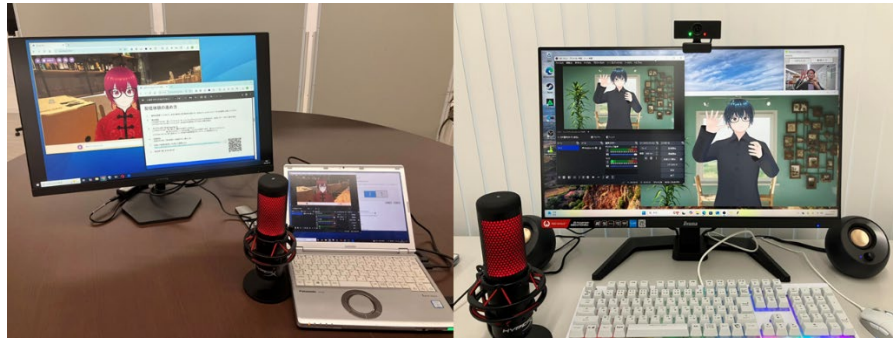
7 月 24 日、株式会社NSGソーシャルサポートとの共催により、アイマスクや白杖により視覚障害体験や車いす体験、VRや映像で感覚過敏や統合失調症などの精神障害の体験会を行いました。新潟市の小学生と保護者、支援者が参加しました。



イベントの周知ポスター

② 中学生・高校生への体験授業、探求学習支援

- 5月16日、新発田市立猿橋中学校の中学生を対象に、配信(ライバー)体験会を行いました。



配信(ライバー)体験会の様子

- 8月19日、ゲットワークス社とともに、越後湯沢データセンターの取り組み紹介などの特別講義を行いました。



特別講義の様子

③ 公開講座の開催

以下2テーマでのオンライン公開講座を開催しました。

【AI エージェント開発シリーズ】

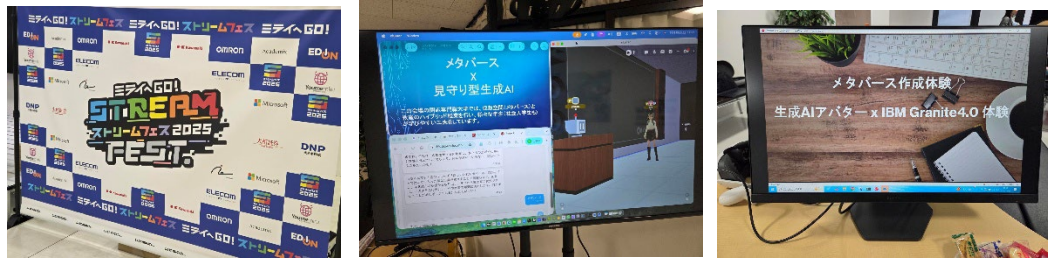
実施日	テーマ
11月18日	合同開催: オンラインで学ぶ Langflow 入門 (Code Engine / local)
11月26日	合同開催: オンラインで学ぶ Langflow 入門 (生成 AI ホームラボ)
11月30日	合同開催: オンラインで学ぶ Langflow 入門 (音声認識をつなげてみよう)

【メタバースキャンパス体験会】

実施日	テーマ
11月18日	合同開催: オンラインで学ぶ Langflow 入門 (Code Engine / local)
11月26日	合同開催: オンラインで学ぶ Langflow 入門 (生成 AI ホームラボ)
11月30日	合同開催: オンラインで学ぶ Langflow 入門 (音声認識をつなげてみよう)

④ STREAM FEST. 2025 in NIIGATA への出展

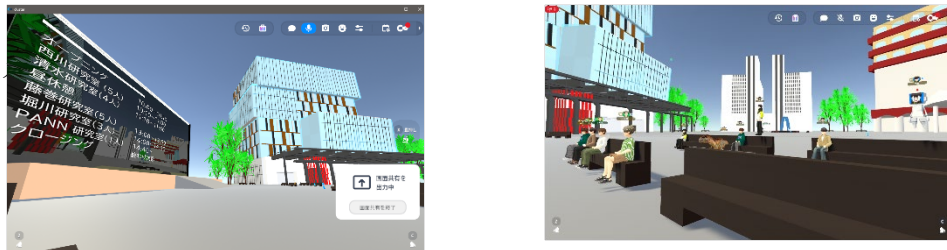
小中学生向け体験型教育フェスティバル「STREAM FEST. 2025 in NIIGATA」へ 11 月 15 日に出展し、メタバース作成体験および生成 AI アバタープログラムを提供しました。



フェスティバルの様子と提供した体験プログラム

⑤ 情報学部 ICT 活用総合実習 プレ研究発表会

2026 年 1 月 31 日、3 学部の校舎が集まるメタバースキャンパスで開催



⑥ オンラインカードゲームエンジンの試験運用準備

情報学部 西川浩平講師 開発の軽量なゲームエンジン「Role Based Card Game Framework」の学内向けトライアル環境を構築し、準備を進めています。

◇KAISHI LAB

最新の 3D プリンタやレーザーカッターなどの工作機器から、各種電子製作のためのツールなどが豊富に整備されている「ものづくりと実験や試作」の場です。産学連携のスペースとして企業との連携でセミナーを開催しています。

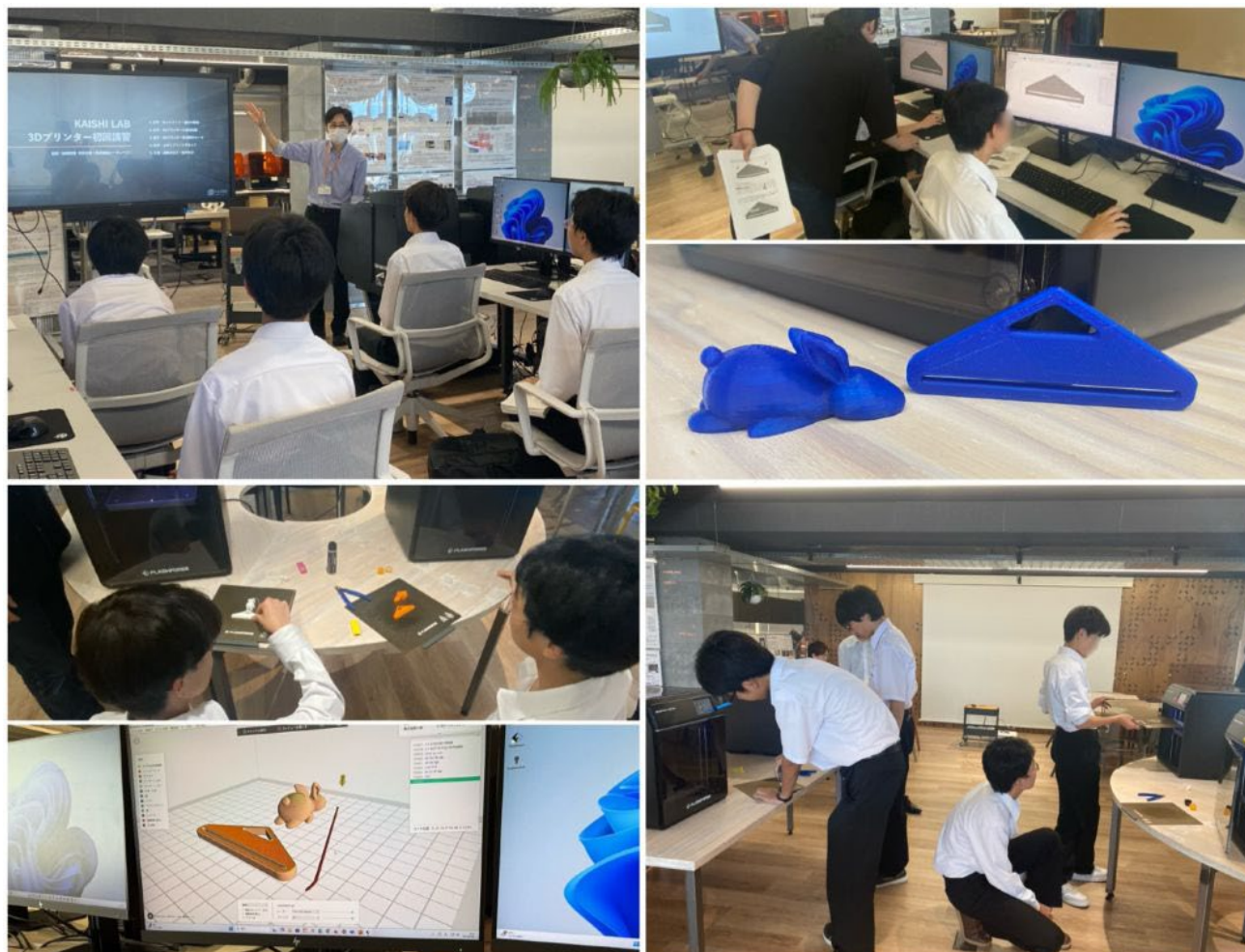
授業では情報学部 2 年次「IoT 演習」、情報学部 3 年次「IoT 実習」にて当施設を使用、年度により教員のご意向でゼミでも使用する場合もあります。また、学生の要望に合わせて機材の講習 (3D プリンタ、レーザー加工機、UV プリンタ) を適宜行っています。

本事業報告書では、機材講習の他に実施した本年度中のイベントをピックアップし、記述いたします。

① 高校生向け 3D CAD、3D プリンタ講習

開催日: 2025 年 7 月 1 日 (火)

対 象:新潟県立新潟高校 物理部1年生 4 名
内 容:CAD ソフトの使い方
データ作成の基本や 3D プリンタの仕組み



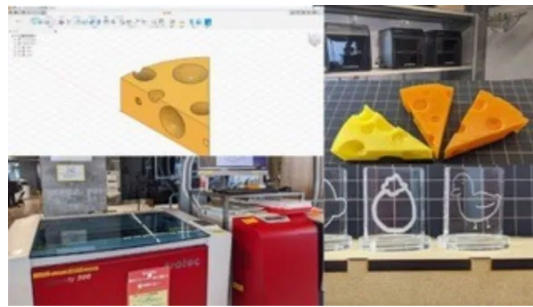
イベントの様子

②STREAM FEST. 2025 in NIIGATA への出展

開催日:202511月15日(土)

対 象:イベント来場者(小中学生向け)

内 容:「3D プリンタでオリジナルチーズを作ってみよう」及び「レーザー加工機でオリジナルアクリルスタンドを作ろう」を米山キャンパスを会場とした体験型教育フェスティバル「STREAM FEST. 2025 in NIIGATA」に出展。



出展内容

②新潟市教員向け 3D プリンタ講習

開催日:2025 年 11 月 28 日(金)

対 象:明鏡高校小林校長、ほか 3 名

内 容:自作ペン置き制作(3D CAD、3D プリンタ体験)

3D プリンタの学校現場活用事例紹介



講習会の様子

③DMM.make AKIBA コラボ講座「ミュージックボックス製作イベント」、「電子工作入門講座」

開催日:2026 年 3 月 27 日(木)、28 日(金)

対 象:「ミュージックボックス制作イベント」「電子工作入門講座」

内 容:ミュージックボックス制作イベントでは、Python を使用したプログラミングを、初心者にもわかるよう順を追って参加者全員でプログラミングしていくものです。(参加者数 6 名)
「電子工作入門講座」は、情報学部 2 年生対象「IoT 演習」の足掛かりとなる、初歩的な電子工作を、2 時間で体験しました。(参加者数 13 名)

④新潟医療福祉大学共同研究(2024 年夏～進行中)

新潟医療福祉大学との共同研究にて、歩行リハビリを実施する患者の足を補助する装置を開発中。

◇数理・データサイエンスセンター

①数理・データサイエンスに関する教育の推進

文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定(リテラシーレベル)」の取得を見据え、2025 年度から全学共通の選択科目として「AI・データリテラシー」を開講しました(情報学部 22 名、アニメ・マンガ学部 1 名が履修)。外部有識者である株式会社グラフのデータサイエンティストと連携し、対面とオンラインのハイブリッド形式で運用するとともに、2026 年度の認定申請に向けて、運用上の改善を継続して進めています。

「AI・データサイエンスコース 応用基礎プログラム」(応用基礎レベル認定)については、2025 年度の 3 年生 13 名が修了しました(2025 年 11 月 10 日認定)。年度修了率は 33%と前年度の 27%から向上しており、応用基礎プログラムの自己点検報告書の公開・本学ホームページからの導線設置とあわせて、対外的な情報発信を強化しました。あわせて、2024 年度カリキュラムに対応した修了判定の仕組みを学務課と連携して整備しました。



理論物理学学者であるカリフォルニア大学バークレー校教授・本学客員教授の野村泰紀氏による特別講義(マルチバース宇宙論)を米山キャンパスにて実施し、学内外あわせて 53 名が参加しました(2025 年 7 月 14 日実施)。また、本学情報学部 堀川教授と共同研究を進める NTT 株式会社コンピュータ&データサイエンス研究所の斎藤忍 特別研究員を講師に迎え、特別講義「2030 年のソフトウェア開発のワークスタイル」を開催しました(2025 年 12 月 9 日実施)。

新カリキュラムについては、センター員が連携して数学系科目を担当し、数学が苦手な 1 年生を対象としたリメディアル教育や、2026 年度に向けた内製のプレースメントテストの整備も進めました。学生・教員が活用できる教育コンテンツとして、IT パスポート・基本情報・応用情報・DS 検定の演習問題セットの整備にも着手しました。

②数理・データサイエンスに関する共同研究推進

NTT 株式会社コンピュータ&データサイエンス研究所と本学情報学部の継続共同研究「セキュリティ開発環境の高度化に向けた評価・分析の共同研究」について、米山キャンパスのセンター部屋を活用した共同実験作業を月次で実施しました。研究成果の社会還元として、研究所所属の斎藤忍 特別研究員による特別講義も開催しました。

新潟人工知能研究所(NAIL)とは、臨地実務実習にとどまらず 4 年ゼミ・学生アルバイト・共同研究などより幅広い形での協働に向けた意見交換を実施しました(2025 年 5 月 18 日実施)。株式会社グラフとは、センター員が新潟オフィスを訪問し、本学卒業生やインターン学生の状況を共有いた

だくとともに(2025 年 9 月 9 日実施)、「AI・データリテラシー」科目の運営および来年度以降の DS 系科目運営方針について継続的に協議を行っています。

③数理・データサイエンスに関する社会貢献

新潟県データサイエンス人材育成協議会の委員として参画し、生成 AI の教育・業務活用に関する意見交換と本学取り組みの共有を行いました(2025 年 12 月 21 日実施の第 9 回協議会に参加)。日本ディープラーニング協会(JDLA)との連携を継続し、E 資格認定プログラムの本学での実施可能性を含めて検討を進めるとともに、来年度の連携継続を確認しました(2025 年 9 月 2 日打合せ実施)。あわせて、LPI-Japan とアカデミックパートナー契約を締結し、平川教授運用の LMS へ OSS-DB 認定試験の問題素材を取り込み DB 演習等の科目で活用する取り組み等について継続的に協議を進めています(2026 年 2 月 24 日にオンラインミーティングを実施)。

高大連携の取り組みとして、新潟県立国際情報高等学校のデータサイエンス科目(全 4 回)の支援を、鈴木・吉田を中心に実施しました(2025 年 5 月 22 日・6 月 24 日・7 月 25 日・9 月 30 日実施)。あわせて長野県飯山高等学校での DS 入門講義(2025 年 7 月 18 日実施)、新潟県万代高等学校での体験授業に向けた準備を進め、連携協定の締結や探求学習との接続等、より体系的な高大連携の構築に向けた検討も開始しました。オープンキャンパスでは、新設のデジタルビジネスコースの体験授業として、コンビニレシートデータを用いた併売分析の体験授業を複数回実施しました(2025 年 5 月 18 日・7 月 27 日実施)。

なお年度後半には、生成 AI 時代における情報学部の人材育成の方向性、ならびにセンター名称への「AI」追加について方針確認を行いました。2026 年度カリキュラム・コース体制の整備、ならびに数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定の継続申請に向けた準備とあわせて、引き続き取り組みを進めていきます。

◇新潟視覚芸術研究所

1, 主催イベント

①第二次世界大戦終結 80 周年企画「アニメーション映画『うしろの正面だあれ』上映&トーク」 (開催概要)

第二次世界大戦が終結してから 80 年が経過した現在も、世界はなお不安定な情勢が続いている。今回上映する『うしろの正面だあれ』は、作家・海老名香葉子氏の戦争体験を描いた自伝的小説を原作とするアニメーション映画である。監督は、戦時下の日本を描いた作品を数多く手がけてきた有原誠治氏であり、また画面構成には若き日の片渕須直氏(『この世界の片隅に』監督)が関わっているなど、アニメーション映画の観点からも興味深いスタッフが参加しています。当日は本作の上映に加え、有原誠治監督ご本人と、新潟大学助教として日本のアニメーション作品における第二次世界大戦の表象と集合的記憶について研究しているアルト・ヨアヒム氏を招き、アニメーションを通した戦争表現について、さまざまな観点から考察する機会としました。

日 時: 2025 年 11 月 12 日 17~19 時半

場 所： 開志専門職大学 古町ルフルキャンパス F209 教室

上 映 作 品：『うしろの正面だあれ』(1991 年)

トーク登壇者：有原誠治(アニメーション映画監督)

アルト・ヨアヒム・ルディ(新潟大学助教)

木村智哉(本学准教授)

当日参加者：学外者 17 名、本学教職員 7 名、本学学部生 4 名

②鈴木潤『J ホラーの核心』刊行記念トークイベント「映画・マンガ・ゲーム・実話系怪談……増殖する J ホラーの様式」

(開催概要)

開志専門職大学アニメ・マンガ学部助教・鈴木潤の単著『J ホラーの核心——女性、フェイク、呪いのビデオ——』(早川書房、2025 年)の刊行を記念して、映画のみならずマンガ、ゲーム、実話系怪談といった各表現領域の識者を招き、J ホラー的演出の様式がどのように形成されてきたのか、またそれがメディアを越えていかに展開・変容してきたのかについて、講演とディスカッションおよび質疑応答を行いました。

日 時： 2025 年 3 月 6 日 15～18 時

場 所： 開志専門職大学 古町ルフルキャンパス F209 教室

登 壇 者： 鈴木潤(本学助教)、雑賀忠宏(本学准教授)、向江駿佑(CIEE Kyoto ゲームデザインクラス講師)、西浦和也(怪談蒐集家)、村井さだゆき【ディスカッサント】(脚本家、本学教授)、木村智哉【司会進行】(本学准教授)

当日参加者：学外者 15 名、本学教職員 11 名、本学学部生 4 名

2, 所員登壇イベント

①メカデミア国際学術会議 2025

日 時： 2025 年 6 月 7～9 日

場 所： 京都精華大学、京都国際マンガミュージアム

登 壇 者： 木村智哉、雑賀忠宏、鈴木潤、露谷雄輝(以上 4 名パネル発表)、村井さだゆき(基調講演)

②シンポジウム「村上知彦のいない日々のために」

日 時： 2025 年 7 月 13 日 13～16 時

場 所： 京都国際マンガミュージアム

登 壇 者： 雑賀忠宏

3, オーラルヒストリー

・水尾芳正氏(元講談社)：2025 年 6 月 23 日インタビュー実施、RIVNA 公式サイトにて公開済み

・片岡義朗氏(元アサツーDK、マーベラスエンターテイメント、ドワンゴ等プロデューサー)：2025 年 9

月 5 日インタビュー実施、RIVNA 公式サイトにて公開中(2026 年 4 月現在)

・清水秀雄氏:2025 年 12 月 5 日インタビュー実施、アニメ・マンガ学部紀要『視聴覚物語芸術研究』第 3 号に掲載済み

・伊藤秀次氏:2026 年 2 月 20～21 日、第 3 回新潟国際アニメーション映画祭にて実施、現在公開準備中

4, その他

古町ルフルキャンパス図書コーナーへの配架資料の選定および一部の購入、外部有識者所員の制度的位置づけについての検討、視聴覚資料の研究用アーカイブ化の準備などを進めました。

(7)外部資金の獲得

2025(令和 7)年度の科学研究費助成事業について、新たに 1 件が採択され、継続課題 5 件と併せて、合計 6 件獲得しました。

また、科研費以外の外部研究費について、新たに 1 件が採択され、継続課題 1 件と併せて、合計 2 件獲得しました。

【2025(令和 7)年度 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金採択一覧】

	開始 年度	終了 年度	研究種目	研究者名 (学部名)	研究課題名	補助事業期間全体の助成金額(円)
1	2021	2025	基盤研究 C	西村 伸也 (事業創造)	小中学校の新型コロナウイルス等感染症を防ぐ 為に環境・行動特性から捉える建築計画研究	4,030,000
2	2023	2027	若手研究	鈴木 美貴 (事業創造)	「福祉コミュニティ」における公私協働の 実現可能性を有する事例の調査研究	2,210,000
3	2024	2025	研究活動 スタート支援	阿部 俊光 (事業創造)	起業意思から起業家的行動に至る変容プロセス と支援策の探索	2,730,000
4	2024	2027	基盤研究 C	市川 昌史 (事業創造)	日本の地域貢献型 DMO 形成に向けた必須 KPI へのアプローチ ―混合研究法を用いて―	2,990,000
5	2024	2026	若手研究	鈴木 潤 (アニメ・マンガ)	「女優・監督」田中絹代のパンパン表象と 女性観客	2,600,000
6	2025	2028	基盤研究 C	福田 稔 (事業創造)	ジョブ型雇用に結びつく専門職大学の実 習への実務家教員の役割	2,470,000

【2025(令和 7)年度 科研費以外の外部研究費採択一覧】

	配分機関	研究助成金 (事業)名称	研究者名 (学部名)	研究課題名	配分額(円)
1	日本電信電話 株式会社	共同研究	鈴木 源吾 堀川 桂太郎 吉田 貴裕 (全員情報学部)	エディタログを活用したソフトウェア 開発者エクスペリエンス向上の共同 研究	1,012,000
2	公益財団法人 古泉財団	研究費助成金 (社会科学系)	工藤 遥 (アニメ・マンガ)	食玩フィギュアを通して見る消費者 の収集心理	300,000

(8) 学内外での学生の実績(資格、大会、コンペ等)

① 新潟若者ビジネスアイデアコンテスト「Open Gate NIIGATA 2025」開催

○開催日:2025 年 11 月 15 日(土)

○会場 :開志専門職大学紫竹山キャンパス

開志専門職大学は共催・幹事校として、コンテストの企画、予算化から運営までの全ての業務を統括しました。

新潟県で起業家を増やすためには、まず新潟県の若者が起業に関心を持ち、チャレンジするきっかけ作りが必要であるとの考え、新潟の高校生、大学生の起業家意識を高めるため、「All 新潟」でのビジネスアイデアコンテストが企画されました。起業に興味をもってもらうことを目的とし、参加のハードルを下げ、誰でも、好きなアイデアで応募ができ、イベントとして楽しく競い合える、ゼロからでもチャレンジしやすいコンテストとなり、本学からも 6 組がファイナリストとして選出されました。

■コンテストの概要

○Open Gate NIIGATA 2025 実行委員会

All 新潟の取り組みであり、テーマも限定せず広く募集するため、特定の企業や大学が主催して開催するのではなく、趣旨に賛同した複数の団体が参画する実行委員会方式が採用され、本学も構成団体として参画しました。(表 1)

表1 Open Gate NIIGATA 2025 実行委員会 構成団体

	団体名称
1	開志専門職大学 起業家教育研究センター
2	新潟大学 ベンチャリング・ラボ
3	事業創造大学院大学 新潟地域活性化研究所
4	一般社団法人 新潟県起業支援センター(CLIP 長岡)
5	株式会社 MGNET
6	特定非営利活動法人 にいがた地域情報化推進協議会
7	事業創造キャピタル株式会社

○応募テーマと資格

コンテストは1名から5名のチームでの参加を条件として、高校を卒業した学生を対象にした「ブレイブゲート部門」と高校生を対象にした「レインボーゲート部門」の2部門で構成されました。(表2)

表2 Open Gate NIIGATA 2025 応募テーマと資格

	ブレイブゲート部門	高校生部門
テーマ	地域社会に新しい価値を創造するテーマ ・社会の困りごとを解決するビジネスアイデア ・既存の産業に新たな付加価値を付けるビジネスアイデア ・自分の家業をより大きくしたいビジネスアイデア ・今までにない全く新しいビジネスアイデア ・とにかく、志をもって一歩踏み出したいビジネスアイデア	普段の生活の中でひためいた新しい商品や、世の中をちょっとよくするサービスなどビジネスアイデア全般
応募資格	高校を卒業し、新潟県内の短期大学・大学・大学院、工業高等専門学校(4、5年生及び専攻科)、専修学校などに在籍している学生で、かつ2025年11月15日現在で29歳以下の者。(予選ラウンドでの本線出場権を得たアイデアは自動的に本線出場)	新潟県内の高等学校に在学中であること。(予選ラウンドでの本線出場権を得たアイデアは自動的に本線出場)

【ブレイブゲート部門ファイナリスト】

◇小林陽翔(事業創造学部2年)

テーマ:推し活カフェ「Stella」

◇諸橋佑真(事業創造学部3年)

テーマ:人口砂メーカー

◇神原聡太・佐藤義士(事業創造学部1年)

テーマ:おはな 障害者向け観光サービス

◇熊倉一真(事業創造学部2年)

テーマ:農業×バイオテクノロジー

◇武田宗一郎(事業創造学部3年)

テーマ:はこロカ

◇佐藤義士(事業創造学部1年)

テーマ:ジョブブリッジ

■Open Gate NIIGATA 2025 開催内容

○応募実績と審査結果

応募総数は111件(前年比約120%)で、内訳はブレイブゲート部門70件、レインボーゲート部門41件。予選ラウンド各部門3位入賞または書類審査に合格し、発表会に進んだファイナリストは、ブレイブゲート部門で16チーム、レインボーゲート部門で14チームとなりました。

発表会での審査は以下の8名の審査員により行われました。

- 1 (株)ハードオフコーポレーション 代表取締役社長 山本太郎 氏
- 2 (株)新潟プロ野球団 代表取締役社長 池田拓史 氏
- 3 NPO 法人 Lily‘&Marry’S 理事長 山田彩乃 氏
- 4 (株)マस्या味方店 店長 栗林礼奈 氏 (次期4代目代表)
- 5 (株)花安 代表取締役社長 渡辺安之 氏
- 6 三ツ目(株) 代表取締役社長 澤正史 氏
- 7 (株)イードア 新潟支社長 石川翔太 氏
- 8 事業創造大学院大学 学長 黒田達也 氏

【審査結果】

【レインボーゲート部門】

- 1 位 聖学院高校1年 寺田蒼立、沼尻祥宏、五井泰地、原拓海、佐藤宇
テーマ「Bedless Adventure」
- 2 位 三条高校 2 年 中川実咲、中村絹子、与斉美香瑠
テーマ「人を繋ぐ商店街に学びの灯を」
- 3 位 新潟東高校 3 年 柳時温
テーマ「ヘルメツポ」

【ブレイブゲート部門】

- 1 位 長岡技術科学大学 3 年 北川斐湧、チンパリーナントポン
テーマ「新規農家を支える生成 AI アプリ」
- 2 位 新潟大学 4 年・博士1年 菊地鼓子、有馬水蓮
テーマ「Oral Watch～要介護者の「そろそろ歯医者に行くべき」を見逃さない、口腔見守りサービス」
- 3 位 開志専門職大学 2 年 熊倉一真
テーマ「お米と田んぼに付加価値を 農業×バイオテクノロジー」

【スポンサー特別賞】

- 信越情報通信懇談会長賞:新潟大学 4 年・博士1年 菊地鼓子、有馬水蓮
テーマ「Oral Watch～要介護者の「そろそろ歯医者に行くべき」を見逃さない、口腔見守りサービス」
- 総務省信越総合通信局長賞:長岡技術科学大学 3 年 北川斐湧、チンパリーナントポン
テーマ「新規農家を支える生成 AI アプリ」
- COMG!賞: 開志専門職大学 1 年 佐藤義士
テーマ「ジョブブリッジ」
- 大和証券賞 :三条高校 2 年 大澤多由、向井心香、須戸悠奈、坂上翔子
テーマ「燕三条の地場産業の継承について」
- Innovation 賞:新潟大学 4 年 軽部憲人、今井大登、橋詰征

テーマ「コネルギー～アレルギー保険で安心な食事を～」

RSM清和監査法人賞:新津高校 2 年 渡邊一加

テーマ「Event Connect Pro」

RUFTアントレ賞:北越高校 2 年 高木瑠斗、中山心楠、斎藤桃音、宮下叶夢

テーマ「防犯グッズを定期的に届けるアプリ連動型サービス」

② 学生起業家 起業実績 (設立順)

- 事業創造学部 1 期生 古津瑛陸 《株式会社 LacuS》2022.3.11 設立
- 事業創造学部 1 期生 後藤峰志 《WelCal Japan》2022.5.2 設立 個人事業主
- 事業創造学部 1 期生 上野真路 《株式会社 ARARAT CREWS》2022.5.16 設立
- 情報学部 2 期生 稲垣 諒 《株式会社 あまむすび》2022.7.28 設立
- 事業創造学部 1 期生 坂本大樹 《コネクトラフト》2022.8.17 設立 個人事業主
- 情報学部 1 期生 残間滉人 《合同会社 Instant Studio》2023.10.2 設立 個人事業主
- 事業創造学部 3 期生 高橋征士 《ilvent》2024.2.19 設立 個人事業主
- 事業創造学部 2 期生 Batjargal Tegshtulga 《株式会社 NonboxV》2025.9.22 設立
- 事業創造学部 5 期生 熊倉一真 《ことぶきファーム燕》2025.10.1 設立 個人事業主
- 事業創造学部 4 期生 井上颯大 《株式会社モーレツ》2025.10.27 設立

③ アニメ・マンガ学部「インターネットバンキング不正送金被害防止ポスター」

(コンペ/新潟県警サイバー犯罪対策課より依頼)

【最優秀賞】

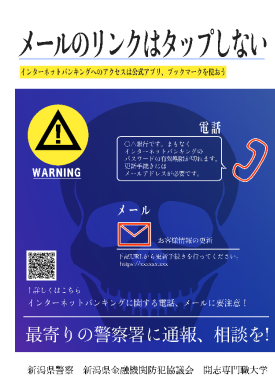
アニメ・マンガ学部 3 年生 島向日葵

【優秀賞】

アニメ・マンガ学部 2 年 南場くるみ

アニメ・マンガ学部 1 年 大井菜友紀

アニメ・マンガ学部 2 年 富樫穂果



インターネットバンキング不正送金被害防止ポスター 受賞作品

④ 新潟市消防局 新潟市防火管理者連絡協議会主催「令和年度 7 年度 防火ポスターコンクール」

【最優秀賞】

アニメ・マンガ学部 2 年 鈴木雅姫



防火ポスターコンクール 最優秀賞

⑤ 一般社団法人痴漢抑止活動センターが主催「第 11 回 痴漢抑止バッジデザインコンテスト」

審査員賞:アニメ・マンガ学部 2 年 富樫穂果



入賞した缶バッチ

⑥ MIZUHO ART SPORTS LIMITS 全国学生選手権大会 2025

優勝 チーム「けだま」(アニメ・マンガ学部 4 年)

⑦ GUNMA マンガ・アニメフェスタ

優秀賞 アニメ・マンガ学部 3 年 ペンネーム 天青河祐

⑧にいがたデジコングランプリ 2025

テクノロジー部門

奨励賞:あかべこマインド(大竹啓之・佐藤有彩)情報学部 4 年

タイトル:推しと、仲間と、もっとシンクロするペンライト制御システム

入 選:情報学部 4 年 木原優月

タイトル:アイラ

入 選:情報学部 4 年 小山陽人

タイトル:「Emolink」ラズパイクラスタによる感情解析ツール

⑨ぐんまプログラミングアワード 2025

IoT 部門ファイナリスト:情報学部 4 年 長田健慈

⑩国家資格

基本情報技術者試験 情報学部 2 年 堀 風羽

情報セキュリティマネジメント試験 情報学部 2 年 堀 風羽

(9)ボランティア活動

①新潟県警察サイバーボランティア(2025年 6 月～2026 年 3 月)

8 名(事業創造学部 2 名、情報学部 5 名、アニメ・マンガ学部 1 名)の学生が新潟県警察より委嘱され、安全安心なインターネット空間を作るため、被害防止のための教育活動、広報啓発活動、サイバー空間の浄化活動などの防犯活動を行いました。

②「NIIGATA 光のページェント」開催に向けたボランティア活動

事業創造学部の有志学生は毎年、新潟駅南口エリアの冬の風物詩を行っています。光のページェント(光のページェント実行委員会、(一社)新潟市南商工振興会)との協力体制を組み、2025 年度は 20 名の学生が参加しました。光のページェント実行委員会と連携し、多世代交流により社会性を身につける契機となった。

3) 学生生活関連

学生一人ひとりが安心・安全で充実したキャンパスライフを送ることができるよう、学生生活に関する情報提供や必要に応じた支援・指導を以下の通り計画・実行しました。

(1) 学友会活動「専律会」

学生の自主性による文化活動、スポーツ活動ならびに地域活動等を通じて、学生相互の親睦、資質の向上及び健康の増進を図り、学生生活を充実したものにするために、学友会組織「専律会」においては、

今年度も大学祭実行委員会を組織し、第4回の大学祭開催に向け、活動しました。

① 各種サークル活動

本学では、学部・学科の枠を超えてサークル活動を開始しています。

■2025 年度 専律会サークル(順不同)

- ・ バスケ・バレーボールサークル
…バスケットボール・バレーボールを通して交流を深める
- ・ 映画同好会
…学部間のつながりの強化
- ・ KPC@開志専門職大学ポケモンサークル
…人気コンテンツである『ポケットモンスター』を通じて友人や先輩と交流を図る。
- ・ SF サークル Neu-schmitt
…SF というジャンルを、さまざまな視点を持つメンバーと交流することで、幅広い内容を学び、ジャンルそのものに対する理解を深めていく。
- ・ ガチサークル
…漫画の執筆やイラスト制作を行い、積極的にコンクール等に応募し、将来に向けた実績作りに励む。
- ・ スポーツサークル
…テニス、バドミントン、卓球、バスケットボール、バレーボールなどスポーツを通して学内の交流を図る
- ・ サッカー・フットサルサークル
…サッカーの技術向上を目指すとともに、サッカー・フットサルを通して交流を深める
- ・ 音楽サークル「BONDY」
…橙華祭、ライブハウスでのライブ等、音楽を通じて、学部同士を超えた交流の場を作る
- ・ 漫画研究会
…主に一次創作、二次創作を部員と共に制作し、コミティア、ガタケット、学園祭などのイベントに参加する。
- ・ 事業創造学部ブランドアンバサダー
…開志専門職大学事業創造学部の認知度を上げ、大学の繁栄に寄与する。
学生の実情を伝え、開志専門職大学をより高校生に知ってもらい入学者を増やす。
- ・ ダンスサークル
…ダンスを通じて他学部・他学年との交流を深める。
- ・ ゆーゆークラブ
…各国からの留学生と日本人学生との交流を促進することを目的とし、あらゆるコンテンツを研究します。

- ・ PACKER
…サークルを通じて、開発の楽しさ・開発の一連の流れを体験するとともに、プログラミングコンテストへ参加することでレベルアップを目指す。
- ・ イラスト CG サークル
…個人の制作の幅を広げ、より良い作品を制作し表現できるようになること。また就職活動にスキルとして繋げること。
- ・ ふるまち TRPG サークル
…TRPG (テーブルロールプレイゲーム) やボードゲームをすることで交流を深める。
- ・ 開志創作連合(KaishiCreationUnion)
…幅広い創作活動を通じて、様々な人と交流し、将来に向けての活動に役立てる
- ・ お酒研究会 酒楽
…様々なお酒に関する知識や文化を学ぶことを通して、お酒に親しみをもつきっかけを提供する。
- ・ ふわふわスポーツサークル
…仲間と協力しながら運動の楽しさを知り、体力をつける。運動する中で体の動き方なども学ぶ。

② 大学祭(橙華祭)

2025 年 6 月 22 日(日)紫竹山キャンパスを会場として、第 5 回となる大学祭(橙華祭)を開催しました。「ロックフェス」をテーマに他校からバンドチームを招聘するなど外部出演者を募り、出演者の友人・クラスメイトなど外部からの来場者が増える結果となりました。また初めて具体的なテーマをもって企画をしたことで、告知物、ゲスト選定などに統一感がある大学祭となりました。

例年模擬店を出店しているサークル以外にも事業創造学部ではゼミ単位で出店や、友人を募って学生が出店したりなどがあり、出店数が過去最大となりました。

また、対象者を限定した保護者面談会に加え、今年度はオープンキャンパスを同時に開催したことにより外部誘客効果により、昨年 739 名に対して、1,216 名の過去最多の入場者に楽しんでいただくことができました。

【概要】

①模擬店・学食

■サークル・事業創造学部ゼミ・学生有志による飲食販売店 7 店舗(カフェ、たこ焼き屋、焼きそば、かき氷(阿部ゼミ)、焼き鳥、駄菓子販売、焼菓子販売(渡辺ゼミ))

■学食((株)フードリンク)

※学食は 11:30～14:30 の運営

■キッチンカー(6 店舗招聘)

出展店舗: JVCOFFEE、AtotM、タコスの森、わ〜らや〜、ロンディーネ、天空

②特別ゲスト

CHIBIUNITY

『新潟から世界へ』をテーマに新潟市を中心に活動するダンスチーム。

2017 年にダンスの世界大会「VIBE DANCE COMPETITION」ジュニア部門で、史上初の地方から初出場・初優勝。その後、海外の番組出演やアーティストとのコラボレーションなど国内外で活躍。



③学生パフォーマンス

- ・学生音楽サークル「BONDY」によるバンド演奏。(教職員との演奏含む)
- ・ダンスサークルによるダンス。

④他校学生パフォーマンス

- ・SHOW!国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 3 チーム(ダンス×2、バンド×1)
- ・新潟県立大学 1 チーム(バンド×1)

⑤学生実行委員企画(縁日)

⑥サークル・学生有志による店舗出店(VR スポーツ体験、ゲーム企画、カラオケ大会)

⑦アニメ・マンガ学部主体のサークルによる学生作品の展示・販売 (1 店舗)

⑧体験授業

- ・アニメ・マンガ学部(高山講師・森岡教授・瀬谷教授・開志創作連合)

参加型ライブペインティング

【広報展開】(大学祭実行委員会 広報担当)

- ・5 月 8 日(木)第 1 弾ポスター完成。学内掲示・Teams みんなの投稿掲示板・インスタグラムへの投稿。

- ・第 2 弾ポスター 学外掲示 (①、②に加え、学生のアルバイト先に掲示)

①万代シティ(シルバーホテル側柱)6 月 1 日～22 日



②新潟駅バスサイネージ 6月9日～22日

【大学祭の様子】



ステージバンド演奏の様子



CHIBIUNITY のパフォーマンス



模擬店の様子



大学祭正面の装飾



第5回橙華祭ポスター__完成版

(メインビジュアル作成:アニメ・マンガ学部 田中 彩葉/鈴木 雅姫/鈴木 愛唯)

③ 星藍祭(アニメ・マンガ学部)

2025年8月9日(土)古町ルフルキャンパスを会場として、第3回文化祭型オープンキャンパス「星藍祭 2025」を開催しました。アニメ・マンガ学部学生ブランドアンバサダー(星鈴会)が中心となり、学生主体で企画・運営を行い、学部の魅力発信と認知度向上を目的として実施しました。通常オープンキャンパスと同時開催したことにより、高校生・保護者をはじめ多くの外部来場者を迎え、在学生も含め226名の来場者が参加しました。



【概要】

①主な企画内容

■特別ゲストトークショー

元週刊少年サンデー編集長 縄田正樹氏

■学生参加型企画

LIMITS(イラスト対戦企画)、コスプレライブドローイング、校内シールラリー、ガチャガチャ企画

■模擬店・体験企画

縁日(射的・お菓子釣り)

■展示・上映

学生制作ホラー映画上映、学生作品展示、
教員作品展示



■物販・交流企画

星藍マルシェ

②広報展開

■公式 SNS(X・Instagram) による告知

カウントダウン投稿、企画紹介投稿

■学外広報

- ・新潟駅、長岡駅、燕三条駅でのポスター掲示
- ・新潟駅バスターミナル サイネージ広告
- ・近隣学校・学生母校約 50 校へ案内送付



4) 社会連携推進活動

(1) 大学見学の受け入れ(上級学校訪問)



新潟市立小須戸中学校の3年生の皆さん

No	見学日	学校名	受入人数
1	4月30日(水)	新潟市立南浜中学校	6
2	5月14日(水)	新潟市立大形中学校	5
3	5月16日(金)	新発田市立猿橋中学校	74
4	6月25日(水)	長岡市立三島中学校	14
5	7月1日(火)	小千谷市立片貝中学校	23
6	7月1日(火)	燕市立小池中学校	72
7	7月2日(水)	新潟市立東石山中学校	31
8	7月17日(木)	新潟市立新潟柳都中学校	3
9	9月12日(金)	燕市立吉田中学校	29
10	10月2日(木)	新潟市立小須戸中学校	15
11	10月2日(木)	新潟市立小針中学校	58

(2)産官学連携推進に関する活動

① The BRASSART Graphic Creation School「連携ワークショップ開催に伴うMOU」に基づく授業連携

BRASSART との英語による国際共同授業の開催を目的とした締結について、第1回産官学連携・国際交流委員会にて審議、承認を行いました。アニメ・マンガ学部「コンテンツ英語Ⅰ」において以下日時で交流授業を行いました。本学学生10名、BRASSART 学生20名が参加しました。

- ・5/12 相互にグループ紹介
 - ・5/19 自分の推しのコンテンツ紹介とQ&A
 - ・5/26 グループプレゼン(後期の創作活動の参考とすべく、自分の作りたい世界観などをテーマとする)
- 2025年度においても同様の取組を予定しています。

② 日本電気株式会社「デザインの教育及び研究に関する包括連携協定」に基づく授業連携

2024年度の協定締結から、毎年度、デザインの教育・研究、人材育成、地域の振興を含む社会課題の解決に向けた教育・研究・活動、その他デザインにおける産業界と教育界の連携の可能性の探求に関することについての連携を目的とした授業連携を行っています。2025年度においては主に情報学部の授業「デザイン・シンキング実習Ⅱ」において連携を行いました。2026年度も連携の継続を検討しており、新たな展開を模索しています。

③ 新発田市ビーフジャーキーの商品開発に関する取り組み

事業創造学部2年生が2025年前期に取り組んだ「商品開発実習」において「スーパーいまがわや」と共にパッケージ提案に取り組んだ商品が、授業終了後も産学連携の取り組みとして継続され、9/25に発売されました。本取組には学生2名が参加し、企業、製造会社である「女川ハム」、新発田市と連携し、様々な制約条件の中で、新発田市ビーフジャーキーを商品化する実戦的な課題解決力を習得することができました。



商品開発に取り組んだ学生と担当教員

④ 潟(水辺の会、シンポジウム、潟漫画)かく

新潟市環境政策課との連携として、潟の魅力を発信する 12/7「水辺の会シンポジウム 2025」、12/24『『国際湿地都市 NIIGATA』メディアリレーション～副市長と若者のトークセッション～』の開催に協力しました。本学紫竹山キャンパスで開催されたほか、事業創造学部教員や学生もプレゼンターとして関わりました。また、新潟市環境政策課からの依頼として、アニメ・マンガ学部において、福島潟・佐潟等を中心とした「潟」をテーマに、専門家と共にわかりやすい学習マンガを制作しました。このマンガは来年度に新潟市で行われる『世界湿地都市ネットワーク市長会議』に向けて配布が予定されています。



学習マンガ



新潟市副市長と若者のトークセッションの様子

⑤ 株式会社 Fusion'z「学生の実践活動教育及び研究に関する協定書」に基づくプロジェクト活動

コンビニエンスストアのメガフランチャイジーである株式会社 Fusion'sと、事業創造学部 11 名、情報学部 3 名、アニメ・マンガ学部 1 名の学生が、コンビニエンスストア 4 店舗における顧客ニーズ調査、実際の商品棚の改善に取り組み、仕入・発注・売上管理等を行う中で店舗経営者の視点を養うこと、多様化するニーズをふまえた店舗設計の考案を目的とした課外活動に取り組みました。2025 年 4 月下旬よりスタートし、約半年間の取り組みが行われ、同年 11/4 に最終成果報告会が開催されました。

⑥ 『『マンガ・アニメのまち にいがた』でマンガにどっぷりつかるマンガ・ブートキャンプ』への開催協力

「マンガ・アニメの街」新潟で開催される特別な体験プログラム「マンガ・ブートキャンプ」は、マンガ文化への理解を深め、実際に体験できるコースです。マンガ・ブートキャンプでは、プロのクリエイターや大学教員によるマンガ制作ワークショップ、著名な漫画家との講演や交流会、「マンガ・アニメの街」のガイド付きツアーなど、多彩なプログラムを通じて、マンガの世界にどっぷりと浸ることができます。1 月 11 日～13 日(古町ルフルキャンパス)海外参加者 4 名。ストーリー構成・ネーム・原稿用紙の扱いを講義し、下描き～ペン入れまでを 3 日間で実践、1 ページのオリジナルマンガを完成。本学教員によるデモと個別指導を実施しました。滞在は 3 泊 4 日で、新潟マンガの家・情報館や古町周辺も訪問をおこない、制作した作品は額装して持ち帰ることができる形でした。2 月 1 日(日帰り・古町ルフル

キャンパス)海外 9 名・日本 5 名の計 14 名参加しました。午前にネーム講座で 1 ページネームを制作、午後はペン入れワークショップで原稿を完成し、講義を最小限にし、実作業中心の構成をおこないました。制作した作品は額装して持ち帰ることができる形で行いました。観光型プログラムでありながら、日本式マンガ制作の本格的な工程と文化を体験できる内容となりました。

(3) 公開セミナーの開催

① 開志コラボセミナー

本学の産官学連携・国際交流委員会が企画し、公開セミナー「開志コラボセミナー」を 3 回開催しました。本セミナーの目的は、開志専門職大学の有する専門性を社会に還元することで、本学の魅力・活動発信ならびに新潟経済の発展を狙い、産学連携活動を促進することを目的としています。

■ 開催実績

日付	テーマ	講師 ※役職(講演当時)
第 20 回 7 月 8 日(火)	ものづくり現場での DX 実践とその効果	富士通フロンテック株式会社 新潟工場 ものづくり DX 統括部 部長 宮澤 和夫 氏
第 21 回 11 月 5 日(水)	新潟県の現状と教育機関に求められる役割 講演:「世界を目指すローカルスタートアップの新時代:大学におけるアントレプレナーシップ教育が目指すもの」 パネルディスカッション:「大学と創業支援各種団体との連携のありかた」	講演: 開志専門職大学 学長 各務 茂夫 氏 パネルディスカッション: にいがた産業創造機構 副理事長 佐野 哲郎 氏 新潟県産業労働部 創業・イノベーション推進課 課長 藤田 拓志 氏 木山産業株式会社 NIINO 事業部長 石川 翔太 氏 新潟大学 経済科学部 准教授 伊藤 龍史 氏
第 22 回 2 月 25 日(水)	アニメーションをプロデュースすること ～世界と向き合う現場から～	STUDIO4℃ 代表取締役 田中 栄子 氏

(4) 本学客員教授一覧(2025 年 3 月 31 日付)

氏名:敬称略	現 職
安達 健	オーストラリアクィーンズランド州政府 駐日事務所 代表
伊佐 範明	新電力新潟株式会社 顧問
石川 友喜	陽光ビル ME 株式会社 取締役 常務執行役員 営業本部副責任役員
出雲 充	株式会社ユウグレナ 代表取締役社長
一木 修	株式会社資源総合システム 代表取締役
伊藤 聡子	キャスター、コメンテーター
井上 淳	前・日本チェーンストア協会副会長
岩野 宏	元・一般財団法人アジア太平洋研究所 代表理事
江口 清貴	LINE みらい財団 専務理事
大山 健太郎	アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長
尾畑 留美子	「真野鶴」五代目蔵元
勝沼 潤	日本電気株式会社コーポレートエグゼクティブ、k creativeworks 合同会社 代表
木戸 冬子	公益社団法人日本経済研究センター 特任研究員
児玉 皓雄	株式会社 AIRI 代表取締役会長
小林 公一	阪急電鉄株式会社 常任監査役、公益財団法人阪急文化財団理事長、 宝塚音楽学校名誉校長
小林 浩康	株式会社カラー 取締役
是枝 伸彦	株式会社ミロク情報サービス 代表取締役会長
今野 由梨	ダイヤルサービス株式会社 代表取締役社長
坂本 隆司	第一工業製薬株式会社 取締役会長
篠原 雅武	京都大学大学院総合生存学館(思修館) 特定准教授
鈴木 茂樹	国立情報学研究所 特任研究員
鈴木 正徳	一般社団法人電気自動車普及協会 会長
瀬谷 啓介	株式会社 zero to one 取締役 CTO
武井 信也	株式会社マーズフラッグ Founder、代表取締役社長 CEO
田代 秀一	元開志専門職大学 情報学部 教授
田中 茂明	日本製鉄株式会社 執行役員
田中 将賀	キャラクターデザイン、作画監督
谷喜 久郎	株式会社新東通信 代表取締役会長
寺島 実郎	多摩大学 学長、一般財団法人日本総合研究所 会長
土井 隆雄	京都大学大学院総合生存学館(思修館) 特定教授
土佐 尚子	京都大学大学院総合生存学館(思修館) 特定教授、株式会社 HARTi 所属アーティスト
長井 龍雪	アニメーション監督、演出家

中西 正利	株式会社 TBS テレビ メディア企画室シニア上級専門職 兼 解説委員
中村 薫	応用地質株式会社 取締役
中村 和男	シミックホールディングス株式会社 代表取締役 CEO
南場 智子	株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役会長
南坊 博司	Global CCS Institute 日本代表
西村 明美	株式会社終家 6 代目女将
野村 泰紀	カリフォルニア大学バークレー校教授、バークレー理論物理学センター 所長
橋本 真司	元・株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス 理事
濱崎 加奈子	京都府立大学文学部准教授、伝統文化プロデューサー
藤井 友子	富宏染工株式会社 代表取締役
星野 岳穂	東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻 特任教授(元資源エネルギー庁 審議官)
前田 泰宏	シン・ニホン パブリックフェアーズ株式会社 100 年経営アドバイザー
松長 昭	公益財団法人国策研究会 幹事
宮城 俊作	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授
Ahmed Mumtaz Masoon Cassim	公立大学法人国際教養大学 理事長・学長
山崎 敦義	株式会社 TBM 代表取締役 CEO
渡瀬 ひろみ	株式会社アーレア 代表取締役
渡辺 捷昭	株式会社九州フィナンシャルグループ 取締役(社外)、住友電気工業株式会社 取締役(社外)

5) 就職支援

本学では一人ひとりに合わせた進路・職業選択サポートをキャリアセンターで行います。また、年間を通じて「キャリアデザイン」「臨地実務実習」等の授業とも連携し、日頃の学びや取り組みが自身のキャリア形成に繋がっていることに気づききっかけづくりに取り組んでいます。

(1) キャリアセンター

開学 6 年目となった 2025 年度は事業創造・情報学部においては 3 期生、アニメ・マンガ学部においては 2 期生を輩出しました。前年度に引き続き、就職希望者全員が就職内定を獲得することができました。総合専門職大学である強みをより発揮するための学部横断支援、また事業創造学部、情報学部においては臨地実務実習期間中のキャリア支援の強化を行い、実践で学んだ経験をそのまま自分の就職活動に活かせるよう授業連携体制をとりました。アニメ・マンガ学部では 1 期生の就職活動体験記を後輩に伝えていく取り組みを強化しています。学生たちの多彩なキャリアを実現し、より地域の企業の皆様へ貢献できることを目指しています。

【キャリアセンター全体の主な取り組み】

- ① センター教職員による相談・面談
- ② 書類選考に向けた添削、面接対策、ポートフォリオ添削

③ 3 学部合同の就職イベントの開催

【3 学部合同/学内企業説明会】

- 開催日時:2026 年 2 月 13 日(金)
- 会 場:紫竹山キャンパス S405/406
- 参加人数:3 学部合計 108 名(3 年生 96 名、2 年生以下 12 名)
- 協力企業:計 54 社(午前 27 社、午後 27 社)

【午前の部(27 社)】(株)アルコン/ALSOK 新潟総合警備保障(株)/(株)ウオロク/(株)AIRMAN/NSG グループ(NSG ホールディングス)/NTT-ME(NTT 東日本グループ〈エンジニア〉)/オーエムネットワーク(株)/キヤノンイメージングシステムズ(株)/グローバルウェーブ・ジャパン/【COMG!】コミュニケーションゲート/(株)コロナ/(株)SANKA/(株)studioA-CAT/スマートホールディングス(株)/(株)大光銀行/第四北越 IT ソリューションズ/新潟トヨタ自動車(株)/(株)ハードオフコーポレーション/(株)Hakuhodo DY ONE/(株)ピクシス・テクノロジーズ/(株)ビット・エイ/(株)BookLive/(株)Fusion'z/三菱電機プラントエンジニアリング(株)/(株)ミロク情報サービス/明和工業(株)/リコージャパン(株)

【午後の部(27 社)】(株)アイ・シー・アイ/アイリスオーヤマ(株)/アクシアル リテイリンググループ((株)原信・(株)ナルス)/INTLOOP(株)/(株)エディア/日本郵政グループ((株)ゆうちょ銀行・(株)かんぽ生命保険)/(株)Gugenka/(株)栗山米菓/(株)コマリ/さくら情報システム(株)/(株)サトー/(株)情報技術センター/(株)新開トランスポートシステムズ/SKY GROUP/(株)タカヨシ(株)DI Palette/東芝システムテクノロジー(株)/新潟日報社/(株)Purpom Media Lab/(株)ハーモニック/パール金属(株)/(株)ファンコミュニケーションズ/(株)フォーワテック・ジャパン/富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)/(株)三越伊勢丹システム・ソリューションズ/三菱電機住環境システムズ(株)/有希化学(株)

④ 就職関連情報の提供(求人検索システム、採用試験情報、合同企業説明会、インターンシップ・オープンカンパニー情報等)

⑤ 進路希望調査

⑥ 2023 年度卒業生及び卒業生の入社企業へのアンケート(卒業後の実態調査)

(2)各学部での就職支援の取組み

各学部特性また就職先特性が異なることから、大きな方針は全体で共有し、細かな日々の支援は学部別にスケジュールし、きめ細やかな支援を行っています。

■事業創造学部

- ① 2026 年 3 月卒学生(4 年生)は個別支援を基本とし、面談・書類添削・面接練習を実施しました。2024 年 11 月 7 日をもって求職登録者 53 名全員が内定獲得しました。
新潟県内就職者数 29 名で全体の 54.72%でした。

【2025 年度 就職実績】

イオンビッグ株式会社・一正蒲鉾株式会社・株式会社 IDOM CaaS Technology・NSS ホールディングス株式会社・NSG ホールディングス株式会社・株式会社エヌ・ティ・ティエムイー・エムケー精工株式会社・株式会社 MTG プロフェッショナル・小柳建設株式会社・株式会社クスリのアオキ・株式会社コロナ・株式会社ジーアフター・株式会社 GENOVA・株式会社 荘内銀行・株式会社 星光堂薬局・セコム上信越株式会社・株式会社 ソフネットジャパン・株式会社 第一実業・茅野市役所・株式会社 TBM・東京アプリケーションシステム株式会社・東洋ワークセキュリティ株式会社・株式会社トレジャー・ファクトリー・名古屋鉄道株式会社・新潟かがやき農業協同組合・新潟県商工会連合会・新潟懸信用組合・新潟交通株式会社・新潟トヨタ自動車株式会社・ニッカホーム株式会社・株式会社 Hakuhodo DY ONE・株式会社 長谷工シニアウエルデザイン・日の丸自動車興業株式会社・富士印刷株式会社・株式会社 マーキュリー・まいばすけっと株式会社・株式会社 マルゼン・三井物産フォーサイト株式会社・明和工業株式会社・モトーレンニイガタ株式会社(SKY GROUP)・株式会社 LacuS・リコージャパン株式会社新潟支社・株式会社 リバイブル・LIB 株式会社・LEGOLAND 株式会社・株式会社 レンタルのニッケン

② キャリアセンター主催イベント

3 年生以下に対しては以下のイベントを通じた支援を行いました。活躍できる業界が多岐にわたるため、前期は夏季インターンシップへの複数参加により視野を広げること、後期は目指す業界、職種に向けた早期選考への応募促進を目標に支援に務めました。特に就活年次となる 3 年生(27 卒)は「キャリアデザインⅢ」「企業内実習Ⅲ」と連携したキャリア支援を昨年に引き続き展開することができ、学部全体で学生を支援する体制が整っています。

また、定期的な個別のキャリア面談(対象者全員)にて学生全員の状況把握を行い、自己分析サポート、エントリーシート添削、面接練習に繋げ、学生個々の状況に応じ寄り添った対応を行いました。

日程	講座名	講師等	主な対象
4 月 7 日(月)～	キャリア面談 (27 卒全員対象) 現在の進路希望、目標に向けた行動計画	キャリアセンター	27 卒
5 月 12 日(月)	業界企業研究①	Indeed Japan(株)	27 卒
5 月 18 日(日)	(株)リクルート学内座談会	(株)リクルート	27 卒
5 月 19 日(月)	業界企業研究②	Indeed Japan(株)	27 卒
6 月 11 日(水)～	キャリアデザインⅡ	北野先生	28 卒
6 月 13 日(金)～	キャリアデザインⅢ	若槻先生	27 卒
8 月 5 日(火)	履歴書マイナビ添削提出～10 月返却	(株)マイナビ	27 卒
9 月 30 日(火)	企業内実習Ⅱ内キャリアイベント ～1年後の自分のためにできることを学ぶ～	Indeed Japan(株) 北野先生 27 卒先輩5名	28 卒
10 月 2 日(木)	企業内実習Ⅲ内キャリアイベント ～社会で必要な力を考える～	Indeed Japan(株)	27 卒

10 月中	個別面談/履歴書添削、活動促し	キャリアセンター	27 卒
10 月 31 日(金)	企業内実習Ⅲ内キャリアイベント ～実習Ⅲの活動棚卸と面接対策～	Indeed Japan(株)	27 卒
11 月中	個別面談/実習Ⅲガクチカブラッシュアップ	キャリアセンター	27 卒
11 月 28 日(金)	面接マナー講座 模擬面接会	(株)アヴィ キャリアセンター	27 卒
12 月 12 日(金)	就活直前講座 模擬面接会	Indeed Japan(株) 実習Ⅲ教員	27 卒
1 月～	個別選考対策	キャリアセンター	27 卒
2 月 13 日(金)	3 学部学内合同企業説明会	全 54 社	27 卒・28 卒
3 月 24 日(火)	新 2 年生オリエンテーション	キャリアセンター	29 卒
3 月 25 日(水)	新 3 年生オリエンテーション	キャリアセンター	28 卒

■情報学部

① 2025 年度キャリアセンター支援内容

2026 年 3 月卒学生(4 年生)は個別支援を基本とし、面談・書類添削・面接練習を実施しました。2026 年 2 月 9 日をもって求職登録者 60 名全員が内定獲得しました。新潟県内就職者数は 19 名で、全体の 31.67%でした。

また、就職活動を間近に控えた3年生は、前期授業キャリアデザインⅢと連携のもと、より多くの企業を知るためのインターンシップ参加への促し、後期は臨地実務実習Ⅱ後すぐに始まる就職活動を見据えて実習履修者全員と面談・面接練習を実施しました。2 年生についても臨地実務実習の前後で経験を学びに繋げる機会を設け、11 月には全員と面談して曖昧な希望を具体的にしていけるサポートを行いました。

【2025 年度 就職実績】

株式会社ミロク情報サービス/大興電子通信株式会社/ウイングアーク1st株式会社/株式会社ゲオネットワークス/株式会社ファンコミュニケーションズ/中部テレコミュニケーション株式会社/株式会社カオナビ/ARアドバンストテクノロジー株式会社/株式会社ラクス/株式会社ニックス/シスココンサルティング株式会社/リコージャパン株式会社/株式会社 BSN アイネット/株式会社 NTT-ME/株式会社インテック/株式会社クスリのアオキ/プログレス・テクノロジー株式会社/スマートスケープ株式会社/アルテリア・ネットワークス株式会社/株式会社ティ・アイ・シー/株式会社栗菱コンピューターズ/株式会社エスユーエス/株式会社ベーシック/デジタル・ナレッジ株式会社/株式会社アルコン/株式会社ハイシンクジャパン/東芝システムテクノロジー株式会社/株式会社コロナ/株式会社システムコンシェルジュ/ディップ株式会社/株式会社第四北越 IT ソリューションズ/新井工業株式会社/合同会社インスタントスタジオ/株式会社 BREXA Technology/日研トータルソーシング株式会社/Adam Innovations 株式会社/株式会社エクス/INTLOOP 株式会社/合同会社ソシオ/株式会社メガ・テクノロジー/フォワードソフト株式会社/株式会社ビット・エイ/株式会社アクシス/株式会社日立プラントコンストラクション

②キャリアセンター主催のイベント

4 年生に対しては個別の企業説明会を、3 年生以下に対しては以下のイベントを通じた支援を行いました。

日程	イベント名	講師等	主な対象
4 月 11 日(金)	自己分析講座	BEACH PADDY FIELD	27 卒
4 月 18 日(金)	履歴書作成講座	(株)広報しえん	27 卒
4 月 18 日(金)	個別企業説明会	(株)ロコビット	26 卒
4 月 22 日(火)	個別企業説明会	三菱電機プラントエンジニアリング(株)	26 卒
4 月 25 日(金)	エントリーシート作成講座	Indeed Japan(株)	27 卒
4 月 28 日(月)	個別企業説明会	(株)プリンガ	26 卒
4 月 28 日(月)	個別企業説明会	(株)アースリンク	26 卒
5 月 14 日(水)	個別企業説明会	(株)アウトソーシングテクノロジー	26 卒
5 月 14 日(水)	個別企業説明会	新潟コンピュータ専門学校	26 卒
5 月 14 日(水)	個別企業説明会	(株)ティ・アイ・シー	26 卒
5 月 21 日(水)	個別企業説明会	ユニティ(株)	26 卒
5 月 21 日(水)	個別企業説明会	サイバーコム(株)	26 卒
5 月 21 日(水)	就活マナー講座	(株)マイナビ	27 卒
5 月 27 日(火)	個別企業説明会	新潟太陽誘電(株)	26 卒
5 月 30 日(金)	企業研究講座	BEACH PADDY FIELD	27 卒
6 月 5 日(木)	個別企業説明会	(株)カヤックボンド	26 卒
7 月 5 日(月)	個別企業説明会	キャル(株)	26 卒

8月5日(火)	履歴書マイナビ添削提出 ～10月返却	(株)マイナビ	27卒
9月11日(木)	進路・就職ガイダンス「臨地実務実習を活かした 就活とこれからの動き」	Indeed Japan(株) キャリアセンター	28卒
9月12日(金)	進路・就職ガイダンス「後期のキャリア支援」	キャリアセンター	27卒
11～1月中	臨地実務実習Ⅱ期間中の面談・面接練習	キャリアセンター	27卒
11月21日(金)	進路・就職ガイダンス「エントリーシート講座～実 習の経験を振り返り、ガクチカを作成しよう～」	Indeed Japan(株)	28卒
11月28日(金)	言語・非言語 Web テスト受検会	Indeed Japan(株)	28卒
12～2月	全員個人面談	キャリアセンター	28卒
2月13日(金)	3学部学内合同企業説明会	全54社	27卒・ 28卒
2月20日(金)	情報学部合同企業説明会	全47社	27卒・ 28卒
3月24日(火)	新3年生オリエンテーション	キャリアセンター	28卒
3月25日(水)	新2年生オリエンテーション	キャリアセンター	29卒

② 情報学部合同企業説明会の開催

2025年2月20日(金)、オンライン Zoom にて、情報学部3年生・2年生を対象とした「学内合同企業説明会」が開催されました。新潟県内外より午前24社、午後23社と合計47社が参加し、学生の企業理解促進の場となりました。

<参加企業一覧>47社

【午前の部(24社)】 (株)アースリンク/アイエックス・ナレッジ(株)/アイレット(株)/(株)アベリオシステムズ・(株)ジソーズ/アルプスアルパイン(株)/(株)インプレス(株)/ウイング/ARアドバンストテクノロジー(株)/(株)エスペシャリティ / (株)NS・コンピュータサービス/(株)ザイマックスデジタル/シスココンサルティング(株)/(株)システムコンシェルジュ/(株)大和コンピューター/(株)ティ・アイ・シー/TDC フューテック(株)/(株)ディマージシア/(株)デジタル・ナレッジ/(株)トインクス(東北電力グループ)/(株)トラス・テック/(株)新潟人工知能研究所/(株)New デイシス/(株)ブレイン/三菱ガス化学(株)

【午後(23社)】 (株)ITスクエア/(株)アドービジネスコンサルタント/(株)アビリカ/(株)アルトナー/(株)カシックス/サイバーコム(株)/(株)サンケイ情報ファシリティ/(株)ジェイ・エス・エス/システム・エボリューション(株)/システムリサーチ(株)/ソリマチ(株)/DAIKO XTECH(株)/(株)テクノプロ テクノプロ・デザイン社/トーテックアメニティ(株)/(株)ニックス/(株)ブレインジェネシス/(株)BREXA Technology/プログレス・テクノロジーズ(株)/(株)プロシード/(株)ベーシック/(株)栗菱コンピューターズ/リンク情報システム(株)/レイシスソフトウェアサービス(株)

■アニメ・マンガ学部

① 2025 年度キャリアセンター支援内容

2 期生(26 卒)には個別の支援を主とし、各種就職講座や学内での企業説明会を行い、常に最新の情報に触れられるよう注力しました。また、各分野の教員によるポートフォリオ添削など、クリエイター輩出に向けた就職支援体制や、外部組織と連携した障害学生の支援留学生支援を構築しました。2026 年 3 月 6 日をもって求職登録者 45 名全員が内定獲得しました。新潟県内就職者数は 14 名で、全体の 31.11%でした。

【2025 年度 就職実績】

株式会社 IMAGICA GEEQ/株式会社ワールドコンストラクション/株式会社博進堂/株式会社リプロネクスト/株式会社アウトソーシング/パール金属株式会社/株式会社エイトビット/株式会社 SPIN TECHNOLOGY/株式会社 Hellarts/㈱ナンバーナイン/株式会社デザインネットワーク/株式会社プレックス/㈱葦プロダクション/㈱サンマルクカフェ/ソレスト㈱/㈱CygamesPictures/㈱フォーワテック・ジャパン/㈱越後札紙/㈱スタジオびえろ/㈱小野株式会社/日総工産㈱/日研トータルソーシング(株)/㈱ENNGI/㈱大光銀行/㈱京都アニメーション/ユーフォーテーブル(有)/㈱A1 ピクチャーズ/㈱プラスパッケージ/㈱ティファナ・ドットコム/㈱いーふらん/㈱インスピリット/㈱グローバルヒューマンブリッジ/㈱エール/㈱ウオロク/㈱エディア/㈱7kingdom/㈱福宝/JA 新潟/㈱コメリ/㈱AXSiZ/㈱新潟アニメーション/㈱マルイ/㈱ネスグローバル株式会社/ネス外国語会話/㈱第四北越銀行(障害者雇用)

③ 個別企業説明会等、支援イベントの開催

日程	講座名	講師等	主な対象
4 月 11 日(金)	㈱リプロネクスト会社説明会＋選考会	㈱リプロネクスト	26 卒
4 月 17 日(木)	ユーフォーテーブル有限会社 会社説明会	ユーフォーテーブル有限会社 制作部	26 卒
4 月 14 日(月)	ゲーム業界合同企業説明会	ゲーム業界人事部	26 卒
4 月 18 日(金)	㈱ロコビット オンライン学内企業説明会	㈱ロコビット 人事部	26 卒
4 月 21 日(月)	自己分析講座	㈱マイナビ	27 卒
4 月 22 日(火)	新潟コンピュータ専門学校教員採用説明会	国際総合学園 人事部	26 卒
5 月 7 日(水)	自己分析講座 2 年生対象	㈱マイナビ	26 卒
5 月 7 日(水)	ゲーム業界研究講座	㈱エープラス	27 卒
5 月 19 日(月)	㈱ENGI 学内会社説明会＋ポートフォリオ添削会	㈱ENGI 制作部	26 卒
5 月 19 日(月)	インターンシップ講座	㈱マイナビ	27 卒
5 月 21 日(水)	㈱アウトソーシング学内企業説明会＋選考会	㈱アウトソーシング 人事部	26 卒
5 月 22 日(木)	㈱ガタケット学内企業説明会＋ポートフォリオ添削会	㈱ガタケット	26 卒
5 月 26 日(月)	履歴書・エントリーシート講座	㈱マイナビ	27 卒
5 月 30 日(金)	㈱ビット・エイ学内企業説明会	㈱ビット・エイ 人事部	26 卒
6 月 2 日(月)	アニメ業界研究講座	㈱ポリゴン・ピクチュアズ	27 卒

6月4日(水)	仕事研究講座	(株)マイナビ	27 卒
6月17日(火)	ポートフォリオ講座	(株)studio A-CAT	27 卒
6月24日(火)	(株)界グラフィックススタジオオンライン学内企業説明会	(株)界グラフィックススタジオ 人事部	26 卒
7月30日(水)	面接対策講座	(株)マイナビ	27 卒
9月30日(火)	就職筆記対策講座	(株)広報しえん	27 卒
10月1日(水)	(株)グローバルヒューマンブリッジ 会社説明会並び に選考会	(株)グローバルヒューマンブリッ ジ人事部	26 卒
10月22日(水)	仕事理解講座	オオカミタホ	28 卒
10月28日(火)	就活スタートアップ講座 先輩に聞こう	キャリアセンター	27 卒
11月4日(火)	(株)クリーク・アンド・リバー社会社説明会+ポートフォ リオ会	(株)クリーク・アンド・リバー社	26 卒
11月11日(火)	就活スタイリング講座	洋服の青山	27 卒
11月12日(水)	ポートフォリオ講座	キャリアセンター	28 卒
12月11日(木)	(株)インスピリット最終選考会	(株)インスピリット	27 卒
12月19日(木)	進路調査アンケート・進路面談	キャリアセンター	28 卒
1月30日(金)	模擬面接会	(株)マイナビ・(株)広報しえん	27 卒
2月12日(木)	就活用証明写真撮影会	(株)スズキカメラ	27 卒
2月13日(金)	3学部合同企業説明会	全 54 社	27 卒・ 28 卒
3月10日(日)	少年サンデー出張編集会	少年サンデー 編集部	27 卒
3月24日(月)	就活スタートアップ講座	株式会社マイナビ	28 卒
	留学生向けビジネスマナー講座		
3月26日(水)	就活スタートアップ講座	株式会社リクルート	28 卒
3月28日(金)	就活相談会	キャリアセンター	27 卒



模擬面接講座



株式会社 Cygames 様学内企業説明会

6) 国際交流活動

① 東西大学校学生との連携ワークショップ(2025 年 8 月 25 日～8 月 29 日)

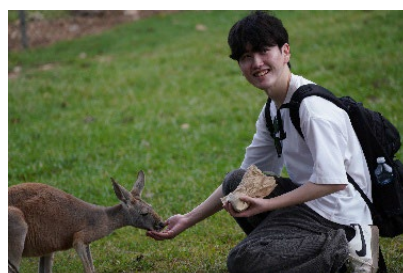
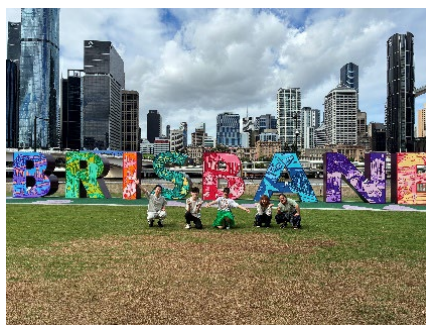
韓国釜山市に位置する私立大学東西大学校デジタルコンテンツ学部ウェブトゥーン学科の学生と李教授の計9名が本学アニメ・マンガ学部の古町ルフルキャンパスに来学しました。初日に古町ルフルキャンパスにて事業創造学部、情報学部、アニメ・マンガ学部の3学部の学生、計10名による歓迎会を実施し、日本語、韓国語を使いながら異文化理解を深めました。また、今回の来学の目的である本学のアニメ・マンガ学部マンガ分野を学ぶ学生との連携ワークショップでは、日本式マンガ制作に関する基礎から応用までの講義を実施しました。加えて、アナログ作画の基礎技法について実演を交えながらマンガ分野の belne 教授より指導があり、実践的かつ密度の高い授業を展開しました。さらには、本学学生と東西大学学生による混成チーム(2チーム)を編成し、共通のプロットをもとにグループでネーム制作を行い、その後、下描きからペン入れまでの工程について個別指導を行い、最終的に短編作品2本を完成させました。各チームにおいて役割分担を明確にしながら制作を進めました。

研修最終日には浴衣をテーマに日本文化体験を企画し、東西大学校の学生に加え、日本人学生も参加し白山神社内の燕喜館にて呈茶体験をして日本文化に親しみました。



② オーストラリア短期語学研修・ホームステイプログラム(2026 年 2 月 21 日～3 月 8 日)

オーストラリア クイーンズランド州のブリスベンに所在する州立職業専門の教育機関での英語語学研修に情報学部から 3 名、アニメ・マンガ学部から 2 名、計 5 名の学生が参加しました。2 週間の本プログラムでは、平日午前中はレベル別クラスにおいて「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語 4 技能の向上を目的とした授業を受講し、午後は異文化体験を目的とした自主研修を各自で行いました。本研修を通じて、参加学生は異文化理解および国際的視野の深化を図るとともに、積極性・自主性・チャレンジ精神の涵養につながりました。また、他国の学生との交流を通じて英語力向上の重要性を再認識し、今後の英語学習に対する動機付けの向上が確認されました。



7) 教職員の能力向上に向けた取組み

(1)FD・SD研修会

開催日	テーマ	講師
5 月 21 日(水)	臨地実務実習の魅力と教育力向上 ～臨地実務実習の効果的な進め方～	名古屋産業大学 現代ビジネス学部 経営専門職学科 准教授 今永典秀 氏
6 月 18 日(水)	科研費の獲得について	パネリスト: 事業創造学部 阿部俊光 准教授 ／市川昌史 助教 アニメ・マンガ学部 木村智哉 准教授 ／鈴木潤 助教 事業創造学部 福田稔 准教授 ※進行役 兼務
9 月 17 日(水)	大学認証評価について	公益財団法人 日本高等教育評価機構 常務理事・事務局長 伊藤敏弘 氏

11 月 19 日 (水)	教授法について	東京大学 大学総合教育研究センター TL 推進部門 部門長・教授 佐藤浩章 氏
2 月 18 日 (水)	学生支援について	開志専門職大学 カウンセラー 神田 誠子 氏 株式会社 NSG ソシアルサポート 清野いずみ 氏

8) 学生募集・入学選考試験関連

3 学部募集定員 240 名の充足を目標に、前年度に引き続き、入試施策の改革、広報活動としてオープンキャンパス動員促進施策、高校との関係強化施策、大学の認知度向上施策に取り組み、各施策を実行しました。

入試施策においては、主に次の 3 点に対する改革に着手し、受験生のニーズに合った入試制度の再構築に努めました。

- (1)「総合型選抜 併願型 探究入試」を新設。(事業創造学部、情報学部のみ)
- (2)「一般選抜」「大学入学共通テスト利用選抜」において、各学部の必須科目の廃止。
- (3)「一般選抜」「大学入学共通テスト利用選抜」において、面接試験の廃止(※アニメ・マンガ学部)。

「総合型選抜 併願型 探究入試」においては、高校での「総合的な探究の時間」やオープンゲート新潟等の外部コンテストなどで発表経験のある者を出願要件とし、高大接続入試の確立を図りました。

出願件数としては、事業創造学部 2 件(うち 2 名入学)、情報学部 3 件(うち 1 名入学)でしたが、高校教員からは高校での頑張りがそのまま入試に活かすことが出来る制度として好評をいただいています。

「一般選抜」「大学入学共通テスト利用選抜」では、文理融合の学生受け入れを目的として、必須科目の廃止を行いました。特に情報学部では、例年文系学科の高校からの入学者も多く、必須科目としていた数学Ⅰ・Aが出願のハードルとなっていると仮説立てをし、廃止をしました。

また、学力重視の選抜区分において面接試験を課している大学はほとんどなく、受験生目線で考えると出願の枷になっていると考え、前年度に面接試験を廃止した事業創造学部と情報学部に加え、今年度アニメ・マンガ学部でも面接試験を廃止しました。

これにより「一般選抜」においては、本学独自の学力試験のみで受験が出来ることや拘束時間が短くなったこと、「大学入学共通テスト利用選抜」においては、会場に来なくても出願書類のみで受験ができることで、併願としての受験意欲を促進できたと考えています。

また、必須科目の廃止により、自分の得意科目でチャレンジできることも相まって、年明け入試における出願の大幅増につながったものと思います。※年明け出願件数 181 件(前年 88 件)

広報活動においては、前年度に引き続き、対面型の直接広報活動を最重要施策と位置づけ、年間を通じて高校教員への訪問活動を実施し、本学の教育活動の浸透を図りました。

さらに、高校生との接触機会を増やすべく、進学ガイダンスへの参加や大学見学会の受け入れ、高校現

場への出張講義を強化し、広報活動を推進しました。

また、2025 年実就職率ランキング(卒業生数 100 人以上 1,000 人未満/株式会社大学通信調べ)において、全国 4 位、新潟県内 1 位、北信越 1 位となり、就職に強い大学である点も広報の強みとなりました。オープンキャンパスについては、年間 9 回の開催を行い、3 学部合計で対象学年の高校生 341 名(実数)が参加し、前年比 97.4%の参加率で前年を若干下回りましたが、本学を第一志願と回答した参加者からの出願率が全学部で前年より増加し、特に情報学部では 90.0%(前年 64.9%)と、前述の直接広報活動やオープンキャンパスでの緻密なプログラム設計が、成果につながったと考えています。

今後もオープンキャンパス参加者の出願率向上に向け、受験生目線に立ったプログラム設計と、各学部の特徴・強みの積極的発信に努めてまいります。

高校との関係強化施策では、県内 5 校(青陵高校、万代高校、高志中等教育学校、明鏡高校、北越高校)、県外 2 校(東京都・聖学院高校、福島成蹊高校)との高大連携協定を締結しました。(前年度 3 校)

一過性の活動にとどまらず、「教育連携(探究学習連携)」や「高大産連携」へと発展させ、持続的な連携を推進していきます。

また、留学生の募集を促進するために、前年度に引き続き、留学生対象の進学ガイダンスへの参加や日本語学校への高校訪問、国際推進室との連携を行いました。その活動が結果に結びつき、留学生の入学が 50 名(前年比 172.4%)となりました。

これらの入試施策および広報活動の結果は以下の通り。

- ・入学者数 249 名(定員充足率:103.8%・前年度比:122.1%)
- ・出願者数 372 名(前年度比:140.9%)
- ・オープンキャンパス動員 527 名(前年度比:106.7%)
- ・資料請求数 13,668 名(前年度比:98.3%)

開学初めて、大学全体の入学定員充足を達成することが出来ました。

(※事業創造学部 81 名、情報学部 76 名、アニメ・マンガ学部 92 名)

次年度は各学部の定員を満たしつつ、引き続き大学全体の定員充足を目標に掲げ、「受験生目線に立ったオープンキャンパスからの出願率の向上」、「高大連携」を施策の軸とし、ガイダンスや出張講義等での高校生との直接接点、連携校との密接な関わりに重点をおき、高大接続入試をはじめ、受験生目線に立った施策の訴求を図ってまいります。

(1) 2025 年度の主な学生募集活動

- ①入学選考試験実施 全 5 入試区分(計16 回)
- ②試験会場 新潟、東京、長野、郡山、鶴岡、自宅等オンライン
- ③オープンキャンパス実施 全 9 回(※下記数値はいずれも対象学年実数)
 - ・事業創造学部 134 名(前年比 107.2%)
 - ・情報学部 111 名(前年比 84.1%)
 - ・アニメ・マンガ学部 96 名(前年比 109.4%)

- ④ 高校内進学ガイダンス(出張講義等含む)参加 県内 118 回／県外 36 回
- ⑤ 会場形式進学ガイダンス参加 県内 19 会場 ／県外 19 会場
- ⑥ 高校生徒、保護者の大学見学会・ワークショップ等の受け入れ 18 回
- ⑦ 大学公式SNSの配信および登録者数促進(登録者数は 2026 年 3 月 31 日現在)
- LINE 登録者数 3,406 名 X フォロワー 708 名
- Youtube 登録者数 534 名 Instagram フォロワー 991 名
- Facebook フォロワー 335 名
- ⑧ プレスリリース配信 23 回
- ⑨ パブリシティ掲載 101 回
- ⑩ 高校教員向け説明会 1 回

(2) 2026 年度入学選考試験(2025 年度実施)結果

■事業創造学部 事業創造学科

入試区分	募集人数	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	50	33	33	33	33	22	11
学校推薦型選抜	15	27	27	27	27	33	-6
一般選抜	10	13	13	12	7	8	-1
大学入学共通テスト利用選抜	5	28	27	26	9	6	3
外国人留学生選抜	若干	9	8	7	5	4	1
合計	80	110	108	105	81	73	8

■情報学部 情報学科

入試区分	募集人数	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	50	20	20	20	17	20	-3
学校推薦型選抜	15	30	30	30	30	28	2
一般選抜	10	21	21	21	10	8	2
大学入学共通テスト利用選抜	5	40	39	38	10	5	5
外国人留学生選抜	若干	15	13	12	9	3	6
合計	80	126	123	121	76	64	12

■アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科

入試区分	募集人数	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	50	25	23	23	23	31	-8
学校推薦型選抜	15	16	16	16	16	11	5
一般選抜	10	13	13	13	8	0	8
大学入学共通テスト利用選抜	5	23	23	22	9	3	6
外国人留学生選抜	若干	59	53	46	36	22	14
合計	80	136	128	120	92	67	25

■開志専門職大学 全体合計

入試区分	募集人数	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
合計	240	372	359	346	249	204	45

9)教育・研究環境の整備

(1) 図書館の充実化

① 機関リポジトリでの公開状況

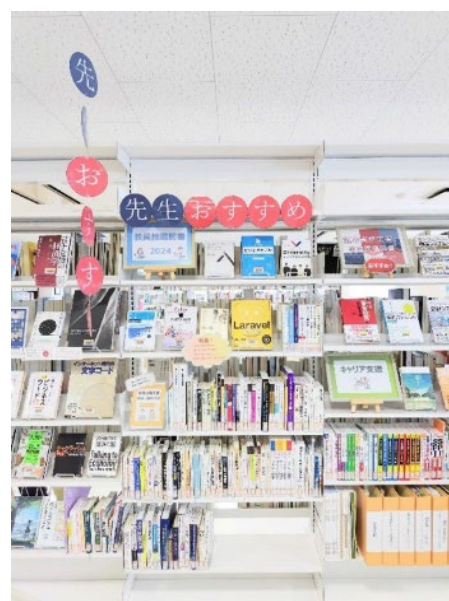
2025 年度は、事業創造学部紀要のイノベーション力研究 3 巻を公開しました。今後はアニメ・マンガ学部紀要の視聴覚物語芸術研究 2 号、3 号を公開予定です。

② 学生図書購入リクエスト、教員推薦図書購入リクエスト

図書委員会で学生を対象とした図書購入リクエストならびに教員を対象とした教員推薦図書購入リクエスト募集を行い、申し込みがあった図書について本学収書方針に基づく選書を行い、学生計 36 冊、教員(センター、LAB 等含む)計 96 点(電子ブック含む)を購入しました。図書館内に特別コーナーを設け、より興味を持ってもらえる工夫をしています。今後も大学図書館としての資料充実を図り、図書館を活用することが行動の選択肢の一つとなるよう取り組み、発信を行っていきます。



学生のリクエストで購入した図書コーナー



教員が推薦する図書コーナー

③ 基礎ゼミ I 内(事業創造学部、情報学部)での図書館利用ガイダンス

4月24日(木) 1限(情報学部)、5月21日(水) 4限(事業創造学部)に基礎ゼミ I 内において、1年生を対象に図書館資料の探し方についてガイダンスを実施しました。

「大学図書館とは」「利用方法」「図書館での情報収集方法」について説明を行い、蔵書検索システム OPAC を使用し、図書や雑誌の資料検索を行いました。また検索結果を用い、図書館での本の並び方や請求記号の見方を説明するとともに、データベース「日経テレコン」を使用し新聞記事検索、企業情報の検索方法を実践、「東洋経済 DCL」では、雑誌『週刊東洋経済』や『会社四季報』や『業界地図』等が全文閲覧できること、データベース検索と紙資料の活用方法の違いを説明しました。



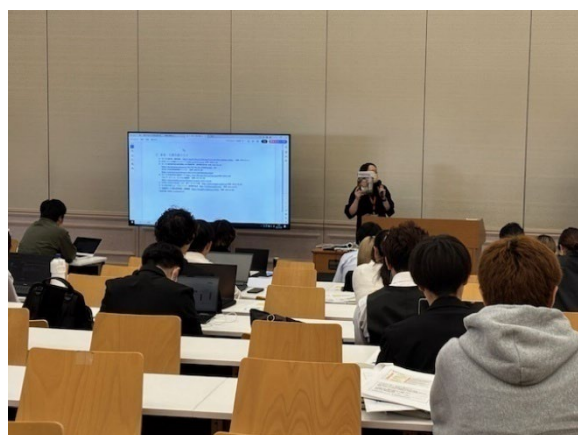
ガイダンスの様子 (米山キャンパス)



図書館にて体験説明(紫竹山キャンパス)

④ 企業内実習Ⅱ内(事業創造学部)での図書館ガイダンス

10月2日(木) 2・3限に事業創造学部2年生(40名)を対象に「論文・記事検索方法について」のガイダンスを実施しました。1年次の基礎ゼミⅠでは「大学図書館を知る」「図書や雑誌を検索し書架から探す」ことを中心とした内容ですが、今回の企業内実習Ⅱではステップアップした内容となり、情報を集めるための資料の種類や特性について説明し、信頼性が高い情報の収集として活用できるデータベースを紹介しました。全文を読むことができる論文の検索方法や全文公開されていない論文記事の所蔵確認方法、文献複写物の取り寄せ方法についても説明を行い、実習先調査や実習中の調査研究に活用できる内容であり、学生が必要とするタイミングで行うことができました。



S405 教室での様子



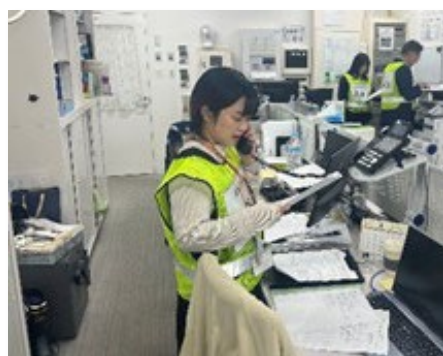
図書館にて説明

(2) 構内の防災対策の実施

第1回、第2回防災訓練を紫竹山キャンパスで2025年4月23日(水)、米山キャンパスで2025年5月9日(金)にそれぞれ実施しました。学生132名、教職員40名、点検連絡員・日常清掃スタッフほか8名の計180名が参加しました。火災発生を想定した通報訓練、避難場所まで誘導員を配置して行った避難訓練、水消火器を使用した消火訓練を行い、最後に各務学長より講評を頂きました。また、古町ルフルキャンパスにおいては、2025年10月17日(金)、2026年3月13日(金)に古町ルフルビル全体の避難訓練が行われ、学生・教職員計25名が参加しました。



防災訓練説明



避難時の様子



避難時の様子



消火器を使用した消火訓練

(3) 入学式を挙行

2025 年 4 月 5 日(土)、2025 年度入学式を本学紫竹山キャンパスで挙行了しました。新入生、教職員のみならず、多くの保護者様にもご参加いただきました。各務学長の式辞に続いて、3 学部の各学部長から新入生へのエールが贈られました。また、来賓祝辞では、五泉市長 田邊正幸様より新入生を祝うメッセージをいただき、式の締め括りとして、3 学部の新入生 203 名を代表したアニメ・マンガ学部の新入生による、力強い決意表明が行われました。また、閉式後には、在学生によるサークル紹介と音楽演奏が行われました。

(4) 卒業式を挙行

2026 年 3 月 13 日(金)、2025 年度卒業式を本学紫竹山キャンパスにて挙行了しました。雪がちらつく寒さのなか卒業生 167 名が新たな門出を迎えました。来賓には新潟市長 中原八一様、五泉市長 田邊正幸様を始め、業界団体や大手企業などから計 6 名ご臨席いただきました。学位記授与では各務学長から各学部の代表に対して学位記が手渡され、式典の最後には学生音楽サークルによる伝統的學生歌「ガウデアムス」の合唱で盛大に送り出しました。



中原新潟市長、田邊五泉市長など来賓 6 名が臨席



各務学長 式辞



卒業生代表による誓いの言葉



伝統的學生歌「ガウデアムス」合唱

2. 開志創造高等学校

2025 年 4 月に開校した本校にとって、当年度は開校初年度という特性上、全国を視野に入れた生徒募集をはじめ、教育課程の編成、サポート体制の構築、ICT 環境の整備、サポート校・スクーリング協力校との連携など、学校として機能するために必要な諸要素を同時並行で整備する年となりました。とりわけ、本年度は学校運営および教育活動の基盤づくりに重点を置き、「教育の仕組みづくり」そのものに注力した一年でありました。

広域の通信制高校として、多様な背景・事情を持つ生徒を受け入れるためには、個々の善意や経験に依存した対応ではなく、誰が対応しても一定の教育・支援の質を担保できる仕組みが不可欠です。本校ではこの課題に対して、LMS を中心とした学習管理、オンデマンド授業と対面スクーリングの設計、専攻設置による多様化する学びへの対応、個別対応を前提とした支援体制の構築など、学校全体で機能する教育システムの整備を推進しました。

生徒募集および外部環境においては、私立全日制高校授業料無償化などの外部環境変化がある中においても、地元新潟をはじめ北海道、青森、山形、埼玉、長野、石川の全国各地から入学があり、開校初年度を在籍生徒数 85 名でスタートすることができました。なお、年度末時点での生徒数は、年度途中の転編入生(32 名)、退学者(2 名)を含めて、115 名の在籍でした。

当年度は成果を強調する年というよりも、学校の基礎作りに加え、今後の拡大フェーズに耐えうる教育・運営の土台を丁寧に築いた年であり、その過程で明らかとなった課題や改善点は、次年度以降の学校経営および教育内容の深化に確実につながるものとなっています。

1) 組織体制

2025 年度は、限られた人員の中で多岐にわたる業務を同時並行で進める必要があり、教職員一人ひとりの柔軟な対応と献身的な取り組みによって学校運営が支えられました。その一方で、業務の属人化や役割の重複といった課題も顕在化しました。

次年度に向けては、

- 教育活動と経営活動の役割分担の整理
- 教務、入試広報、キャリア支援、DX 推進などの専門性を活かした組織運営(校務分掌の整理)
- 情報共有と意思決定のプロセスの明確化

を進め、個人の経験や努力に依存しすぎない、持続可能な学校運営体制の構築を目指します。これにより、教職員が本来の教育活動により集中できる環境を整えるとともに、学校全体としての判断力・実行力を高めていきます。

2) 教育・研究活動

(1) オンラインの教育システム

本校の教育システムは、「時間と場所の柔軟性」「個別最適な学びの設計」「キャリアとの接続」「協働的な支援体制」を柱として展開しており、不登校経験のある生徒への対応にとどまらず、自身の関心や将来像を見据えた学びを主体的に選択する生徒への対応も視野に設計されております。

具体的には独自の LMS とメタバースキャンパス導入による ICT の活用や、本校独自の教育システムで

ある「レインボースクーリング&ナイトスクーリング」を通じた個別最適な学習環境を整えています。併せて、キャリアコンサルタント、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフチームによる安心の生徒サポート体制、ならびに連携先の高等学校・大学・専門学校の教育コンテンツを活用した多様な専攻を整備することで、生徒一人ひとりの歩みを支えています。

当年度の教育成果の一例として、1 年次在籍の工藤璃星さんがミラノ・コルティナ冬季オリンピックスノーボード日本代表に選出され、5 位入賞を果たしました。これは、競技活動と学業の両立を可能とする本校の学習環境と、教職員およびサポート専門スタッフによる伴走型支援が有機的に機能した結果であり、本校の教育システムの有効性を示す象徴的な事例です。この工藤璃星さんの事例は、特別な個別対応によるものではなく、本校が全ての生徒に対して提供している学習環境と支援体制が、幅広い挑戦に対応可能であることを示しています。

また、年間の退学者数を 2 名に抑えることができ、設定した目標以内の実績を達成しました。この実績は本校の教育システムが通信制高校に入学する生徒に対する退学抑止施策にも一定の効果を発揮していることを示しています。しかしながら 2 名の退学に至った経緯も含めて再分析することで、組織としての更なる退学抑止の仕組みづくりを進めてまいります。

(2) 各専攻・プログラム

本校では、多様な将来像を持つ生徒に対応するため、以下の 8 つの専攻を設置し、各分野において専門性と実践性を重視した教育活動を展開しました。

○ 職業探究専攻

本校のキャリア教育の基盤を担う専攻として、4 大学・34 専門学校と連携したキャリア体験学習および職業体験に繋げる支援を実施。2025 年度は、5 月から 11 月にかけて計画的にキャリア体験学習を実施し、7 月には延べ 94 名、11 月には月間 126 名が参加するなど、年間を通して多くの生徒が大学・専門学校での授業体験や施設見学に参加しました。これにより、生徒は自身の興味や適性を具体化し、進路意識を高める機会を得ることができました。

○ 高校・大学連携専攻

各大学との連携により、「高校卒業後につながる学び」を明確にすることを目的とした専攻。2025 年度は、正式に新潟医療福祉大学(2 月 6 日)および新潟食料農業大学(3 月 17 日)との高大連携協定を締結し、大学の専門分野に触れる学習環境の基盤整備を行いました。

○ アニメ・マンガ専攻

業界と連携したオンデマンド教材の活用に加え、制作活動を中心とした実践的な授業を展開。5 月には業界セミナーおよび作品講評会を実施し、7 月以降はベーシック・アドバンス両コースで作画教室や講評会を継続的に実施しました。10 月にはカタログ表紙イラスト制作への挑戦、11 月には業界体験合宿(6 名参加)、2 月には学内コンテスト結果発表会を行うなど、創作経験の蓄積と表現力の向上を図りました。

○ e スポーツ専攻

専門機関と連携し、競技力向上に加え、協働的な学びを重視したプログラムを実施。6 月には専門学校との合同練習会を実施し、11 月および 1 月には「エイペックス特別実習授業」を開講。技術指導のみ

ならず、チームワークや戦略的思考の育成に重点を置いた教育活動を行いました。

○ アスリート専攻

新潟医療福祉大学との連携のもと、競技活動と学業の両立を支援する柔軟な学習教材と支援体制を整備。5 月にはキャリア・セッション、9 月・11 月にはトップアスリートを講師としたスポーツセッション（新潟アルビレックス BB 五十嵐圭選手、プロゴルファー若林舞衣子選手等）を開催。トップアスリートとの直接交流によって、競技後を見据えたキャリア意識の醸成を図りました。

○ 海外留学専攻

海外講師との交流や海外校とのオンライン交流、AI 英会話の活用を通じて、語学力と国際的な視野の基礎形成を行いました。6 月にはニュージーランドの高校との交流を開始し、7 月以降、スウェーデン、アメリカ、コスタリカ、カナダ、韓国、イギリスなどに在住している講師による異文化理解講演を実施。加えて、ニュージーランドの複数校との国際交流により、実践的な国際理解教育を推進しました。

○ 医学科・難関大専攻

東進衛星予備校との連携による高い進学目標を持つ生徒を対象にした、外部教育機関との連携による高度な学習環境を整備。

○アントレプレナー専攻

開志専門職大学との連携による起業や社会課題への関心を持つ生徒を対象にした、外部教育機関と連携した探究的な学びを展開。10 月にはオンライン講演会を開催し、一般参加を含む形で実践的なビジネス視点やチャレンジ精神を育む機会を提供しました。

本校では、既存専攻の運用と並行して、次年度以降の教育ニーズの多様化に対応するため、新規専攻および教育コンテンツの検討を進めてきました。2026 年度には、新たに情報分野やダンス分野の専攻を追加した 10 専攻に拡大します。これらの取り組みは、単に専攻数を増やすことを目的とするものではなく、「専攻の学びがキャリア形成や進路選択にどのようにつながるか」という視点を重視して、初年度における各専攻の実践と成果を踏まえ、教育効果と運営体制の両面から検証し、今後も検討を進めてまいります。

(3) 学内外での生徒の実績(資格、大会、コンペ等)

工藤璃星(スノーボード)

全日本スノーボード選手権(ハーフパイプ)(2026 年 3 月):優勝

ミラノ・コルティナ冬季五輪(2026 年 2 月):女子 HP 決勝 5 位入賞

W 杯第 4 戦(2026 年 1 月):4 位入賞

W 杯開幕戦・中国大会(2025 年 12 月):2 位入賞

3) キャリア教育の推進

本校では、学習と社会を結びつける実践的教育の中核として、「レインボースクーリング」および「職業体験プログラム」を計画的に実施しました。これらは生徒一人ひとりが将来の生き方や働き方について

て考えるための「キャリア形成の場」と位置付けています。

(1) レインボースクーリング(キャリア体験学習)

通常のスクーリングに加えて、当校では通信制高校の特性を活かし、登校時期や時間帯を柔軟に選択できる仕組みのもと、大学・専門学校と連携したキャリア体験学習を組み込んだレインボースクーリングを実施。スクーリング期間中にこれらの体験活動を組み込むことで、教科学習と社会的実践を結び付け、生徒の学習意欲向上と進路意識の醸成を図りました。2025 年度は、前期(5～7 月)および後期(9～11 月)にそれぞれ実施し、4 大学・34 専門学校を中心とした体験先において、授業体験や施設見学、実習を行いました。その結果、7 月から 11 月にかけて延べ 300 名を超える生徒がキャリア体験学習に参加し、職業分野や学問分野への理解を深める機会となりました。これにより、生徒が自身の興味・関心や適性を具体化し、将来像を描くための土台を形成することができました。

(2) 職業体験プログラム

キャリア体験学習で得られた自己理解をもとに、より実践的な学びとして職業体験プログラムを実施。本プログラムでは、福祉、医療、サービス、製造、農業、クリエイティブ、e スポーツなど、幅広い分野の企業・施設と連携し、生徒が実際の職場を訪問して業務を体験しました。任意参加型プログラムとして実施し、多様な業種において職場の雰囲気や仕事のやりがい、求められる姿勢を体感する機会を提供しました。

(3) キャリア支援体制と進路指導の成果

本校では、キャリア体験学習・職業体験を軸としたキャリア教育に加え、キャリアコンサルタントと担任を中心とした継続的なキャリア支援を行いました。当年度は途中転編入学者の対応でしたが、個別面談や進路研修を通して、生徒一人ひとりの希望や状況に応じた進路設計を支援し、進学・就職・プロ活動・卒業優先など、多様な進路選択に対応しました。その結果、2025 年度の卒業者については、目標としていた進路決定率 100%を達成しました。これは、レインボースクーリングおよび職業体験プログラムを通じたキャリア意識形成と、学校全体での組織的な進路支援体制が有効に機能した成果であると考えています。

4) 生徒募集・入学選考試験関連

2025 年度は、開校初年度として学校の認知形成と教育内容の理解促進を主たる目標に据えて取り組みました。その結果、資料請求数は大きく伸長し、本校の存在が一定程度広域的に認知された一年となりました。

実績としては、中学新卒・転編入を合わせた資料請求数は年間目標を大きく上回り、特に県外からの問い合わせが顕著に増加しました。Web 流入においても、オーガニック検索を中心にセッション数、新規ユーザー数ともに前年を上回っており、本校の教育内容やキャリア教育への関心が高まっていると推察されます。これらの数値から、「通信制高校を検討する層」への到達という点では、一定の成果があったと評価しています。

一方で、学校説明会・オープンスクールへの参加数、ならびに実際の出願・入学への接続率について

ては、想定を下回る結果(中学新卒目標比 78%、転編生目標比 53%)となりました。特に、中学新卒における説明会参加率、転編入希望者における出願率は、資料請求件数の伸びに十分に比例せず、「情報接触から意思決定までの動線」に課題が残る結果となりました。

その背景要因として、開校初年度であったことによる学校像・教育内容の認知不足、教育内容や他校との差別化が十分に伝わりきっていなかった点、保護者主導での進路検討が多い中で、通信制高校という選択肢への理解が十分ではなかった点などが挙げられます。

また、転編入生募集においては、私立全日制高校の志願者増加や授業料無償化制度の影響により、「潜在的に全日制高校を希望する層」に対して、本校の教育内容や支援体制を十分認知させることができなかった点も、生徒募集上の課題として浮き彫りとなりました。

さらに、サポート校を含めた募集においては、設置数の拡充を先行したことにより、施設ごとの募集準備や募集動線の整備にばらつきが生じ、設置した施設中 7 施設において入学実績ゼロという結果になりました。これは、本校の教育理念やキャリア教育の考え方が、募集活動の現場レベルまで十分に浸透していなかったことを示しており、次年度に向けた重要な改善課題であると捉えています。

以上を踏まえ、2025 年度の生徒募集は、「認知拡大には成功した一方で、入学までの理解促進と意思決定に対する支援体制に課題を残した一年」であったと総括できます。

次年度以降は、キャリア教育の具体的成果や教育活動の流れをより明確に言語化・可視化し、説明会、個別相談、サポート校を含めた募集動線の再設計を進めることで、接触から入学までの接続率向上を図ってまいります。

5) 教育環境の整備

本校では、時間や場所に制約されない学びを実現する通信制高校として、教育の質を担保・向上させるための施設整備および ICT 環境の構築を、学校運営の重要な基盤と位置付けています。2025 年度は教育活動の実践と並行して、オンラインを中心とした学習環境およびスクーリング実施体制を整備しました。

(1) オンライン学習環境および LMS の整備

本校では、独自の LMS を中心としたオンライン学習環境を整備し、生徒一人ひとりの学習状況を把握・支援できる体制の構築を行いました。2025 年度は、単位修得を目的としたレポート提出・評価管理に加え、学習履歴の蓄積や到達状況の可視化を進め、生徒の学習継続を支える基盤づくりに注力しました。これにより、地理的に離れた地域に在住する生徒や、体調や生活リズムに配慮が必要な生徒においても、無理のない学習計画のもとで学びを継続できる環境が整いつつあります。一方で、教職員側にとっては、LMS を活用した学習管理・指導のさらなる習熟や、システムの安定性の確保、機能の充実、運用方法の改善が今後の課題であることも明らかとなりました。

(2) スクーリング実施環境の整備と運用

スクーリングについては、通常スクーリングに加え、全国初の取り組みであるナイトスクーリングを含む「レインボースクーリング」を実施しました。これにより、生徒は自身の生活状況や体調に応じて参加時期・時間帯を選択でき、学習参加に対する柔軟性を確保しました。

2025 年度は、実際の校舎においても必要な教室や自習室を確保しつつ運営を行いました。初年度という特性上、運営面での調整や改善を重ねながらの実施となりましたが、生徒が対面で学ぶ場として一定の機能を果たすことができたと評価しています。

2026 年度は米山校舎へ移転となりますが、米山校舎においても同様の学習環境を提供して参ります。

(3) 教育環境としての「学びの場」の整備

本校では、オンライン学習を主軸としながらも、生徒が安心して学び続けられる「学びの場」の重要性を重視しています。2025 年度は、教職員とのオンライン面談や相談の機会を確保するとともに、必要に応じて対面での相談やサポートが行える体制づくりを進めました。

(4) サポート校・スクーリング協力校の連携状況

本校では、通信制高等学校としての学習の柔軟性を担保するとともに、全国で生徒一人ひとりの学習継続や生活状況に応じた支援を行うため、サポート校およびスクーリング協力校との連携体制の構築を進めてきました。これらの連携協力校は、登校支援や学習支援に加え、本校のキャリア教育や教育活動を各地域で補完・展開する重要なパートナーとして位置付けています。

開校初年度の 2025 年度はサポート校 4 施設を設置しました。そのうち、実際に生徒の受け入れ、および教育活動が本格稼働したのは、SKK 高等学院(青森)およびアルス高等学院(埼玉)の 2 施設のみでした。これらの施設においては、在籍生徒の学習支援や登校支援が行われ、本校の教育理念やキャリア教育の方針に沿った連携の実践が確認されました。

一方で、2026 年度に向けては、全国展開を見据えた体制強化として、サポート校・スクーリング協力校は新規協力校 1 校を含む 10 施設を追加し、計 14 施設体制へと拡充しました。この拡大は、本校の広域通信制高校としての役割を果たすための重要な取り組みであると同時に、より多様な生徒の学びを支える基盤づくりでもありました。しかしながら、その運用実績を検証すると、設置した施設の一部においては、2026 年度スタート時点では入学希望者を十分に確保できないケースも見られました。これは拠点整備を先行した初期段階における検証結果であり、本校としては今後の連携体制の質的向上に向けた重要な示唆として捉えています。これらの施設については、制度上の設置は完了していたものの、本校の教育方針やキャリア教育の位置づけについての共有が十分でなかったことや、募集活動や広報に関する準備不足、「サポート校として何を担うのか」という役割理解のばらつきなどが重なり、実質的な機能発揮に至らなかった点が課題として明らかになりました。

この結果から、サポート校・スクーリング協力校は、単に「数を拡充する」だけでは十分に機能せず、本校の教育理念、特にキャリア教育の考え方や生徒支援の在り方を共有した上で、教育活動としてどう連動していくかを事前に設計することが不可欠であるという重要な示唆を得ました。

2025 年度は、制度設計と組織拡大を先行して進めた段階であり、このような課題が顕在化したこと自体を、次年度以降の改善につなげるための重要な学びであると捉えています。今後は、サポート校・スクーリング協力校を「教育の延長線上にある学習・キャリア支援の拠点」として再定義し、本校のキャリア教育や学習支援と一体となって機能する連携体制の構築を目指してまいります。

Ⅲ. 財務の概要

1. 決算の概要

1) 貸借対照表の概要

貸借対照表とは、決算日(3 月末現在)における資産および負債、純資産の内容および有高を明示し、学校法人の財政状況を明らかにすることを目的とするものです。資金収支計算書および事業活動収支計算書は、年度中における収入および支出の状況、すなわち、年度中の(フロー)を示すのに対し、貸借対照表は決算日における財産の金額(ストック)を表しています。

企業会計では「純資産の部」は主として株主に帰属する部分である株主資本ですが、学校法人会計では「基本金」と「繰越収支差額」の合計を指します。また、学校法人は固定資産の占める割合が極めて高いことから、学校法人会計において固定資産、固定負債が流動資産、流動負債より先に記載される固定性配列法が用いられます。

2025 年度の資産の部合計は、8,376,383 千円となり、前年度末に比べ 229,597 千円減少(前年比 2.7% 減)となりました。資産の部の固定資産は、238,103 千円の減少(前年比 3.1% 減)となりました。これは主に大学施設・設備についての減価償却と、保有していた不動産の売却等によるものです。流動資産は、8,506 千円の増加(前年比 1.2% 増)となりました。これは主に運用していた不動産の売却や借り入れによるものです。

2025 年度の負債の部合計は、1,120,304 千円となり、前年度末に比べ 781,220 千円の増加(前年比 230.3% 増)となりました。主に、運転資金としての長期借入金が発生したことによる固定負債が前年度末から増加したことが要因となっております。なお、2025 年度期末の前受金は 237,906 千円(前年比 19.3% 増)であり、新年度には学生生徒等納付金として収入に振り替えた上で教育研究活動費用として充てられています。

また、当法人は 2026 年 3 月 31 日現在、外部からの借入等による 500,000 千円の長期借入金があります。

(単位:千円)

科目 \ 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
資 産 の 部					
有形固定資産	8,046,615	7,792,484	7,533,628	7,266,599	7,059,940
その他の固定資産	1,168,569	977,852	945,415	666,396	634,951
流動資産	2,675,767	1,878,619	1,165,133	672,983	681,490
資 産 の 部 合 計	11,890,952	10,648,955	9,644,177	8,605,980	8,376,383

科目 \ 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
負 債 の 部					
固定負債	5,816	15,183	10,356	5,530	588,709
流動負債	368,457	266,648	276,106	333,553	531,594
負 債 の 部 合 計	374,274	281,831	286,463	339,083	1,120,304
純 資 産 の 部					
基本金	9,641,833	9,561,734	9,595,726	9,627,696	9,517,508
第1号基本金	9,487,833	9,407,734	9,441,726	9,473,696	9,363,508
第4号基本金	154,000	154,000	154,000	154,000	154,000
繰越収支差額	1,874,844	805,390	△238,012	△1,360,800	△2,261,429
純 資 産 の 部 合 計	11,516,678	10,367,124	9,357,713	8,266,896	7,256,078
負債及び純資産の部合計	11,890,952	10,648,955	9,644,177	8,605,980	8,376,383

※千円未満を切り捨てて表示していますので合計が一致しない場合があります。

(補足)

第1号基本金:設立当初に取得した固定資産ならびに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大および教育の充実向上のために取得した固定資産(校地、校舎、機器備品、図書等)の価額

第4号基本金:学校法人の円滑な運営に必要な保持すべき運転資金(基本金組入対象資産について「恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額」)

(1)貸借対照表関係財務比率の経年比較

財 務 比 率

比率名		新潟総合学院					評価
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
固定資産構成比率	固 定 資 産 総 資 産	% 77.4%	% 82.3%	% 87.9%	% 92.1%	% 91.8%	▼
有形固定資産 構成比率	有 形 固 定 資 産 総 資 産	67.6%	73.1%	78.1%	84.4%	84.2%	▼
特定資産構成比率	特 定 資 産 総 資 産	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	△
流動資産構成比率	流 動 資 産 総 資 産	22.5%	17.6%	12.0%	7.8%	8.1%	△
固定負債構成比率	固 定 負 債 負 債 ＋ 純 資 産	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	7.0%	▼
流動負債構成比率	流 動 負 債 負 債 ＋ 純 資 産	3.0%	2.5%	2.8%	3.8%	6.3%	▼
内部留保資産比率	運 用 資 産 － 総 負 債 総 資 産	21.5%	16.1%	9.2%	4.4%	-4.9%	△
運用資産余裕比率	運 用 資 産 － 外 部 負 債 事 業 活 動 支 出	103.6%	94.8%	57.5%	26.3%	-9.0%	△
純資産構成比率	純 資 産 負 債 ＋ 純 資 産	96.8%	97.3%	97.0%	96.0%	86.6%	△
繰越収支差額 構成比率	繰 越 収 支 差 額 負 債 ＋ 純 資 産	15.7%	7.5%	-2.4%	-15.8%	-26.9%	△
固 定 比 率	固 定 資 産 純 資 産	80.0%	84.5%	90.6%	95.9%	106.0%	▼
固 定 長 期 適 合 率	固 定 資 産 純 資 産 ＋ 固 定 負 債	79.9%	84.4%	90.5%	95.8%	98.0%	▼
流 動 比 率	流 動 資 産 流 動 負 債	726.2%	704.5%	421.9%	201.7%	128.1%	△
総 負 債 比 率	総 負 債 総 資 産	3.1%	2.6%	2.9%	3.9%	13.3%	▼
負 債 比 率	総 負 債 純 資 産	3.2%	2.7%	3.0%	4.1%	15.4%	▼
前 受 金 保 有 率	現 金 預 金 前 受 金	1703.0%	1462.4%	877.7%	361.3%	308.0%	△
退 職 給 与 引 当 特定資産保有率	退 職 給 与 引 当 特 定 資 産 退 職 給 与 引 当 金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	△
基 本 金 比 率	基 本 金 基 本 金 要 組 入 高	99.8%	99.7%	99.7%	99.8%	98.5%	△
減 価 償 却 比 率	減 価 償 却 累 計 額 (図 書 を 除 く) 減 価 償 却 資 産 (取 得 価 格)	23.4%	27.2%	32.4%	37.5%	41.0%	～
積 立 率	運 用 資 産 要 積 立 額	212.5%	125.8%	67.0%	32.5%	29.1%	△

運用資産余裕比率の単位は年

運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

外部負債＝総負債－（退職給与引当金＋前受金）

要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金

（注） 1 財務比率の高低の評価は以下とする

△ 高い数値が良い ▼ 低い数値が良い ～ どちらともいえない

2) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書とは、学校法人の各年度における諸活動をお金の動きに着目して表したものです。教育研究に対する資金の使途(資金支出)とこれに対する資金の調達(資金収入)が明らかにされています。また、活動区分資金収支計算書は資金収支計算書の決算額を3つの活動区分ごとに資金の流れを明らかにするもので、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いものとなります。

2025 年度における資金収入の部合計は、前年度からの繰越支払資金を含め 2,991,468 千円(前年比 8.3%増)となり、主に、学生生徒等納付金および前受金による収入です。前年度の繰越支払資金を除いた資金収入の部合計は 2,361,818 千円(43.5%増)となり、当年度、開志創造高等学校が開設したこともあり、教育活動資金収入については前年同期より増収となりました。

資金支出の部は翌年度繰越支払資金を除くと、2,350,827 千円(10.3%増)となりました。この結果、翌年度繰越支払資金は 640,641 千円となり、前年同期から 10,991 千円の増加(前年比 1.7%増)となりました。

(単位:千円)

年 度 収入の部	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
学生生徒等納付金収入	887,532	660,150	806,710	825,785	930,745
手数料収入	6,892	4,852	4,692	6,728	9,674
寄付金収入	0	0	1,000	11,673	13,498
補助金収入	68,212	48,926	56,793	113,374	271,356
資産売却収入	1,604,644	325,186	191,917	133,405	91,023
付随事業・収益事業収入	116,903	5,814	5,859	5,691	13,079
受取利息・配当金収入	7,608	13,811	6,636	3,944	1,052
雑収入	35,830	15,722	34,746	15,654	11,441
借入金等収入	0	0	0	0	500,000
前受金収入	152,670	124,350	127,080	174,257	207,948
その他の収入	491,356	340,852	285,194	492,416	492,804
資金収入調整勘定	△458,927	△165,296	△137,254	△138,098	△180,805
前年度繰越支払資金	2,521,791	2,600,003	1,818,561	1,115,423	629,650
収入の部合計	5,434,515	3,974,373	3,201,936	2,760,257	2,991,468

年 度 支出の部	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
人件費支出	1,007,770	848,955	889,496	903,700	914,877
教育研究経費支出	530,336	432,136	459,445	486,372	627,407
管理経費支出	627,471	317,693	273,198	375,022	364,509
借入金等利息支出	0	0	0	0	8,385
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	79,075	4,809	15,096	756	161,036
設備関係支出	70,096	37,078	14,270	20,626	33,662
資産運用支出	105,989	150,363	176,013	50,073	135
その他の支出	626,560	512,436	407,092	447,034	583,193
資金支出調整勘定	△212,789	△147,662	△148,099	△152,980	△342,381
翌年度繰越支払資金	2,600,003	1,818,561	1,115,423	629,650	640,641
支出の部合計	5,434,515	3,974,373	3,201,936	2,760,257	2,991,468

※千円未満を切り捨てて表示していますので合計が一致しない場合があります。

3)活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書とは、その資金収支計算書を「①教育活動による資金収支」「②施設整備等活動による資金収支」「③その他の活動による資金収支」の 3 つの活動区分別に表示した計算書で、企業会計のキャッシュフロー計算書(営業活動・投資活動・財務活動)のように活動ごとの収支状況を明確にするために作られたものです。

教育活動資金収支差額は△564,680千円(前年比23.4%増)でありました。2025年度は開志創造高等学校が開設となったため、教育活動資金収入については973,097千円(前年比27.8%増)となり、前年同期より270,791千円の増収となりました。

その他の活動資金収支差額は576,310千円(前年比112.6 %増)となり、前年同期より305,277千円の増加となりました。これは主に借入金の増減によるものです。

(単位:千円)

科目	年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動による資金収支						
	教育活動資金収入計	1,109,679	724,894	903,875	973,097	1,243,888
	教育活動資金支出計	2,165,578	1,598,782	1,622,065	1,764,354	1,906,793
	差引	△1,055,898	△873,888	△718,190	△791,256	△ 662,905
	調整勘定等	△261,302	△85,487	△134	54,604	98,225
	教育活動資金収支差額	△1,317,201	△959,376	△718,325	△736,652	△ 564,680
施設整備等活動による資金収支						
	施設整備等活動資金収入計	1,604,420	0	0	0	70,015
	施設整備等活動資金支出計	149,172	41,887	29,366	21,383	194,699
	差引	1,455,248	△41,887	△29,366	△21,383	△ 124,683
	調整勘定等	△4,873	0	5,668	1,228	124,045
	施設整備等活動資金収支差額	1,450,375	△41,887	△23,698	△20,154	△ 638
小計(教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額)		133,173	△1,001,264	△742,023	△756,807	△ 565,318
その他の活動による資金収支						
	その他の活動資金収入計	489,077	672,150	476,418	621,469	1,009,184
	その他の活動資金支出計	543,211	452,371	437,470	337,490	432,684
	差引	△54,133	219,778	38,948	283,978	576,499
	調整勘定等	△828	44	△63	△12,945	△ 189
	その他の活動資金収支差額	△54,961	219,822	38,885	271,033	576,310
支払資金の増減額(小計+ その他の活動資金収支差額)		78, 212	△781,441	△703,138	△485,773	10,991
前年度 越支払資金		2,521,791	2,600,003	1,818,561	1,115,423	629,650
翌年度 越支払資金		2,600,003	1,818,561	1,115,423	629,650	640,641

※千円未満を切り捨てて表示していますので合計が一致しない場合があります。

(1)活動区分資金収支関係財務比率の経年比較

財 務 比 率

比率名		新潟総合学院					評価
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度	
固定資産構成比率	教育活動資金収支差額	%	%	%	%	%	△
	教育活動資金収入計	-118.7%	-132.3%	-79.4%	-75.7%	-45.3%	

(注) 1 財務比率の高低の評価は以下とする

△ 高い数値が良い ▼ 低い数値が良い ～ どちらともいえない

4)事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書とは、経営状況を表すものであり学校法人会計基準において「当該会計年度の教育活動、教育活動以外および臨時的な収支ならびに基本金組入額を表示し均衡の状態を明らかにするために行う」と規定されています。

2025 年度における事業活動収支計算書の状況は、教育活動収支差額は△950,191 千円(前年比 14.0%増)、教育活動外収支差額は△1,685 千円(前年比 82.2%減)、特別収支差額は 564 千円(前年比 97.3%減)となりました。これにより、基本金組入前当年度収支差額は△1,010,817 千円(前年比 7.3%減)の支出超過となりました。

当年度は、開志創造高等学校の開設により学生生徒等納付金収入は、前年に対しては 270,791 千円の増収となりました。

(単位:千円)

		年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
		科目					
教育活動収支	事業収入	学生生徒等納付金	887,532	660,150	806,710	825,785	930,745
		手数料	6,892	4,852	4,692	6,728	9,674
		寄付金	0	0	1,000	11,673	13,498
		経常費等補助金	68,212	48,926	56,793	113,374	271,356
		付随事業収入	111,241	446	95	120	7,430
		雑収入	32,119	14,506	36,265	17,436	11,617
		教育活動収入計	1,105,998	728,881	905,556	975,119	1,244,323
	事業支出	人件費	1,007,770	848,955	889,496	903,700	913,875
		教育研究経費	842,786	696,340	715,670	748,536	894,932
		管理経費	694,132	372,516	325,002	425,783	384,813
		徴収不能額等	10,104	2,850	3,971	1,494	893
		教育活動支出計	2,554,793	1,920,663	1,934,140	2,079,516	2,194,514
	教育活動収支差額		△1,448,795	△1,191,781	△1,028,583	△1,104,396	△ 950,191
教育活動外収支	事業収入	受取利息・配当金	7,608	13,811	6,636	3,944	1,052
		その他の教育活動外収入	11,552	10,521	5,764	5,570	5,648
		教育活動外収入計	19,160	24,333	12,401	9,515	6,700
	事業支出	借入金等利息	0	0	0	0	8,385
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	8,385
	教育活動外収支差額		19,160	24,333	12,401	9,515	△ 1,685
経常収支差額		△1,429,634	△1,167,448	△1,016,182	△1,094,881	△ 951,876	
特別収支	収入	資産売却差額	85,538	37,209	2,092	16,103	0
		その他の特別収入	862	2,349	5,347	9,117	564
		特別収入計	86,400	39,559	7,439	25,220	564
		資産処分差額	68,394	21,661	592	20,415	46,241
	支出	その他の特別支出	0	3	75	741	13,263
		特別支出計	68,394	21,665	667	21,156	59,505
		特別収支差額	18,006	17,894	6,772	4,063	△ 58,941
基本金組入前当年度収支差額		△1,411,628	△1,149,554	△1,009,410	△1,090,817	△ 1,010,817	
基本金組入額合計		△1,939,346	△30,833	△34,502	△31,970	0	
当年度収支差額		△3,350,974	△1,180,387	△1,043,913	△1,122,787	△ 1,010,817	
前年度繰越収支差額		1,196,683	1,874,844	805,390	△238,012	△ 1,360,800	
基本金取崩額		4,029,136	110,933	510	0	110,188	
翌年度繰越収支差額		1,874,844	805,390	△238,012	△1,360,800	△ 2,261,429	

※千円未満を切り捨てて表示していますので合計が一致しない場合があります。

(1)事業活動収支計算書関係財務比率の経年比較

財 務 比 率

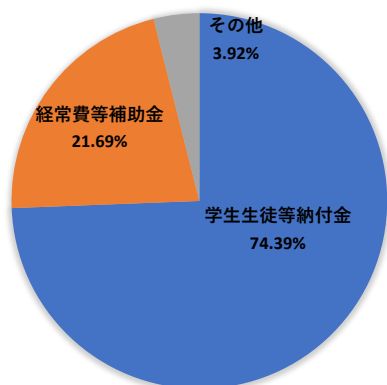
比率名		新潟総合学院					評価
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
人件費比率	人件費 経常収入	89.5%	112.7%	96.8%	91.7%	73.0%	▼
人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	113.5%	128.6%	110.2%	109.4%	98.1%	▼
教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	74.9%	92.4%	77.9%	76.0%	71.5%	△
管理経費比率	管理経費 経常収入	61.6%	49.4%	35.4%	43.2%	30.7%	▼
借入金等利息比率	借入金等利息 経常収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	▼
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	-116.5%	-145.0%	-109.0%	-108.0%	-80.7%	△
基本金組入後収支比率	事業活動支出 事業活動収入－基本金組入高	-360.4%	254.9%	217.1%	214.8%	180.7%	▼
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	78.8%	87.6%	87.8%	83.8%	74.3%	～
寄付金比率	寄付金 事業活動収入	0.0%	0.0%	0.1%	1.1%	1.0%	△
経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 経常収入	0.0%	0.0%	0.1%	1.1%	1.0%	△
補助金比率	補助金 事業活動収入	5.6%	6.1%	6.1%	11.2%	21.6%	△
経常補助金比率	教育活動収支の補助金 経常収入	6.0%	6.4%	6.1%	11.5%	21.6%	△
基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	160.0%	3.8%	3.7%	3.1%	0.0%	△
減価償却額比率	減価償却額 経常支出	14.8%	16.5%	16.1%	14.9%	13.2%	～
経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	-127.0%	-154.9%	-110.7%	-111.1%	-76.0%	△
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	-130.9%	-163.5%	-113.5%	-113.2%	-76.3%	△

(注) 1 財務比率の高低の評価は以下とする

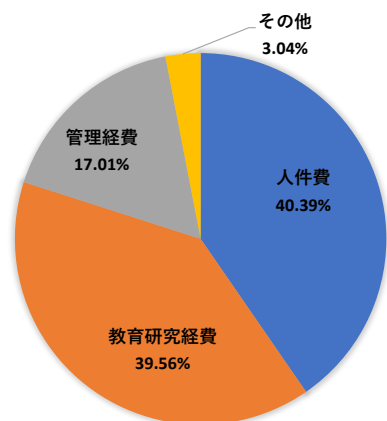
△ 高い数値が良い ▼ 低い数値が良い ～ どちらともいえない

(注) 2 令和元年度決算期より教育研究経費と管理経費の区分分けを行ったため、過年度においての教育研究経費比率および管理経費比率は比較算定外とする

事業活動収入の構成比（2025年度）



事業活動支出の構成比（2025年度）



2. その他の財務状況

1) 有価証券の状況

(単位: 千円)

種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	0	0	0
株式	0	0	0
投資信託	59,251	65,038	5,786
合 計	59,251	65,038	5,786
時価のない有価証券	8,784		
有価証券合計	68,036		

2) 借入金の状況

(単位: 千円)

借入先	期末残高	利 率	返済期限等
市中金融機関	500,000	2.65%	令和 14 年 7 月 31 日
借入金合計	500,000		

3) 学校債の状況

2025 年度期末時点での学校債の発行による負債はありません。

4) 寄付金の状況

(単位: 千円)

種別	相手先	件数	金額
寄付金	個人	0件	0
	法人	1件	1,200
	後援会	1件	12,298
計			13,498

5) 補助金の状況

(単位: 千円)

種別	事業名等	収入額
国庫補助金	授業料等減免費交付金	90,047
	私立大学等経常費補助金	131,246
	クリエイター等支援事業	23,271
	中小企業産業・環境・産業標準政策推進事業	23,780
	計	268,343
新潟県補助金	私立高校特色教育チャレンジ支援事業 等	2,966
	計	2,966
新潟市補助金	結核予防事業補助金	47
	計	47

6) 収益事業の状況

2025年度の収益事業は、主に不動産貸付業であり経常利益は5,648千円、当期純利益は5,648千円となりました。なお、収益事業に関する会計は、私立学校法で「学校の経営に関する会計から区分し、特別の会計として経理しなければならない」とされており、一般の企業会計同様に処理しています

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

科 目 \ 年 度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
資産の部					
流動資産	0	0	0	0	0
固定資産					
有形固定資産	86,750	87,296	87,151	87,007	86,862
無形固定資産	0	0	0	0	0
投資等	0	0	0	0	0
繰延資産	0	0	0	0	0
資産の部合計	86,750	87,296	87,151	87,007	86,862

科 目 \ 年 度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
負債の部					
流動負債	0	375	375	0	0
固定負債	375	0	0	375	240
負債の部合計	375	375	375	375	240
純資産の部					
元入金	390,446	390,992	390,847	390,703	390,693
利益剰余金	△304,070	△304,070	△304,070	△304,070	△304,070
純資産の部合計	86,375	86,921	86,776	86,632	86,622
負債・純資産の部合計	86,750	87,296	87,151	87,007	86,862

(2) 損益計算書

科 目 \ 年 度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
売上高	7,618	7,250	7,473	7,637	7,940
売上原価	0	0	0	0	0
売上総利益	7,618	7,250	7,473	7,637	7,940
販売費・一般管理費	2,055	1,682	1,709	2,066	2,292
営業利益	5,562	5,568	5,764	5,570	5,648
営業外損益	99	0	0	0	0
経常利益	5,662	5,568	5,764	5,570	5,648
特別損益	0	△199	0	0	0
当期純利益	5,662	5,368	5,764	5,570	5,648

※千円未満を切り捨てて表示していますので合計が一致しない場合があります。

7) 関連当事者との取引の状況

(1) 関連当事者

2025 度期中における関連当事者との取引の内容は、次の通りであります。

役員・法人等の名称	資本金 又は 出資金	事業内容又は職業	役員の 兼任等	事業上の関係	取引の内容等
株式会社 NSG ホールディングス(注 1)	千円 50,000	持株会社	2 名	業務委託等	業務委託等
株式会社 国際総合計画(注 2)	千円 100,000	不動産業・ 建設業	—	工事請負 管理業務委託等	施設改修費 管理業務委託等
株式会社 ジェイ・エス・エス(注 2)	千円 36,500	システム開発業等	—	工事請負 システム保守等	工事請負 システム保守料
愛宕商事 株式会社(注 2)	千円 65,000	物品販売・ 旅行事業等	—	備品購入 ビル管理委託等	備品購入 ビル管理委託等
株式会社 イタリア軒(注 2)	千円 50,000	ホテル・ 食堂	—	宿泊・食堂利用	宿泊・食堂利用
株式会社 NSG ビジネスサポート(注 2)	千円 17,000	給与計算他	—	給与計算業務他委託	給与計算委託他支払
株式会社 新潟人工知能研究所(注 2)	千円 36,750	学習支援等 の委託業務	—	業務委託等	業務委託等
Sailar Energy 株式会社(注 2)	千円 10,000	キャンパス電気代	—	電気料金	電気代支払
株式会社 アイ・シー・オー(注 2)	千円 95,000	広告代理店業 他	—	Web 広告制作、 広告配信他	広告費等の支払
株式会社 ガタケット(注 2)	千円 67,500	イベント出展 製作受注他	—	イベント出展、 印刷物製作	イベント出展、 印刷物製作
株式会社 ヒューマンブレイン(注 2)	千円 40,500	一般労働者派遣 事業	—	人材派遣	派遣報酬の支払

注 1: 当法人の理事、及び理事の近親者が議決権の過半数を占める法人であります。

注 2: 注 1 の法人の子会社であります

(2) 出資会社

2025 年度期首および期末時点において、時価性のある株式会社への出資はございません。

8)学校法人間取引

2025 年度期中における学校法人間の取引の内容は、次の通りであります。

(単位:千円)

学校法人名		取引の内容	取引金額等
国際総合学園	収入	資産の譲渡 等	70,440
	支出	出向人件費 等	34,852

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

当初の計画においてはアニメ・マンガ学部が完成年度となる2025年3月期での収支の均衡を目指し、学校運営を進め、事業譲渡による設置者変更、また遊休不動産、保有有価証券の売却等によって、20億円規模の財務対策も実行してまいりました。

喫緊の経営上の課題としては、この経常収支差額の早期改善であり、開志専門職大学開学以来の定員未充足からの脱却を第一に捉え、学生を「集める」大学ではなく「集まる」大学となるための全学的な大きな戦略再編に取り組んだ結果、2026年4月の入学生は大学全体の入学定員充足を達成することが出来ました。また、運営効率化によるコストコントロールを実践し、教育水準を保った上での経費削減を段階的に実行し、法人全体としての収支構造の改善にも取り組みます。

(1) 定員充足のための事業戦略、今後の中・長期的な事業計画

具体的な事業戦略としては、大きく①教育内容の最適化による在学生満足度の向上、②効果的広報戦略による募集強化、③コストコントロールによる大幅な経費削減、この3点を実施します。この戦略転換による収支改善によって、開志専門職大学単体で、4年～6年の中期で収支均衡を実現します。

(2) 新たな収益源、外部資金確保のための施策(新規事業、科研費獲得、寄付金募集)

収益源の多様化の1つとして、2025年度より広域通信制高等学校の設置し、開志創造高等学校の運営による事業拡張を行っております。全国的なマーケットを想定しており、中期的(5年)な見込みとして、3,000人規模を受け入れるための市場浸透戦略を実行し、法人全体の事業拡大を見据えています。

他には、研究活動の質向上による科研費獲得数の増進や、私立大学等経常費補助金の安定的な交付に加えて、開志専門職大学の教育特色にマッチするその他の助成金についても、法人全体での情報収集を図りながら、交付を徴求できるように取り組みます。

(3) 寄付金募集戦略

多様な収入源を確保する施策として、当法人は2023年度に特定公益増進法人の証明書の交付を受け、寄付者が個人の場合の税の優遇措置が受けられる体制を整え、大学HP等より受け入れを行っています。

また2024年度より後援会が発足し、この後援会からの安定的な寄付の受け入れを実施しています。寄付収入の拡大を実現するためにも、2026年度も開志専門職大学独自の先鋭化された魅力を発信し続け、価値向上を実践し、戦略的な寄付金募集に取り組みます。

(4) 支出削減に対する施策

運営効率化実現の施策の一つとして、校舎統合の実施をいたしました。具体的には、開志専門職大学紫竹山キャンパスに事業創造学部と情報学部を集約し、米山キャンパスの約半分の校舎面積に開志創造高等学校(広域通信制高等学校)の校舎を移転いたしました。

また、米山校舎の残りの区画においては、他の学校事業への不動産賃貸借を実施します。この移転計画において不動産収益収入と冗費削減を織り込み、法人全体として160百万円(収入増130百万円、支出減30百万円)程度の収支改善を見込んでいます。

(5) 2026 年度の予算編成

開志専門職大学において、入学目標の達成し、教育活動収入については学生生徒等納付金、経常費補助金等の増収を実現します。合わせて施設設備の適切な維持管理を行い、快適な教育研究環境を維持していくための支出を取り入れるとともに、冗費の削減による教育活動支出の削減を実行します。

また、開志創造高等学校の全国区ブランドを確立し、入学目標の達成を確実に履行してまいります。

2026 年度に想定される投資計画において、米山キャンパスの校舎修繕計画を折り込んでいます。

合わせて、(1)～(5)事項についての中長期的な財務改善計画の検証・見直しを実行します。

(6) 金融機関等からの資金調達による運転資金確保

現計画において想定される▲348 百万円の経常キャッシュフロー(経常収支差額+減価償却費)のマイナスへの対策として、資産売却 154 百万円の実施、合わせて金融機関等から 200 百万円規模の資金調達を検討しています。

以上、法人全体の財政基盤強化の観点から、経営基盤の安定確保のため一層綿密な財政計画並びに財政目標の策定・実行に努め、健全な学校運営の実現に引き続き注力していきます。

以 上